

中 岳



熊本市歯科医師会会誌

第 82 号

特 集「歯の衛生週間」
第2回 ボウリング大会
訪問歯科診療実績報告

目 次

巻 頭 言	鈴木 勝 志	1
特集「歯の衛生週間」		
「8020イン熊本市」	岩 村 公 一	2
歯 科 無 料 相 談	岡本 寛・斉藤 忠継	3
無料一斉歯科検診	矢毛石 豊・岡本 寛	3
口腔衛生担当理事より	矢毛石 豊	4
アンケート報告	永 野 忠	5
ボウリング大会・懇親会	吉 永 誠一郎	8
第13回ビデオ研修会	奥 村 敏 之	11
学 術 講 演 会		
「歯周治療と院内感染予防」	有 吉 洋	12
委員会だより		
学校歯科委員会		14
医療管理委員会		15
口腔衛生委員会		16
社 保 委 員 会		17
訪問歯科診療報告	本 田 志保子	18
医療・保健・福祉の連携を目指して	迫 雅 裕	22
高齢者よい歯のコンクール	渡 辺 研	25
つ ど い		
広 報 委 員 会	奥 田 良 樹	26
南部支部旅行	柿 原 訓	28
支部長対抗ボウリング大会	奥 田 良 樹	29
移 動 理 事 会	山 室 紀 雄	30
勉 強 部 屋		
「補綴前処置としての歯周環境改善」	川 嵩 俊 輝	31
テキサス大学サンアントニオ校での短期留学を終えて	伊 東 隆 利	34
本 日 休 診		
「ジャズをこよなく愛して」	小 島 博 文	37
一 枚 の 写 真		39
ひ と り ご と		
「最近出会った言葉と文章から」	池 上 富 雄	41
「氣・氣孔」	大 関 英 明	43
「糸切歯」	舩 田 て い	44
スポーツの広場		46
新入会員紹介		48
会 務 報 告		49
編 集 後 記		

表紙の写真

「パラソルの花満開の白鶴ヶ浜
海水浴場」

終りなき戦いに句読点を！

— 魅力ある市歯科医師会を目指して —

副会長 鈴木 勝 志



来たるべき21世紀があと8年後にやって来ます。その時私共熊本市歯科医師会はどうなっているか考える時、今現在をどう過ごしてゆくべきかが問題と思います。現在市歯が抱えている一番の問題は進行中の熊本県歯科医師会会館の建設にともなう市歯の会館建築の問題であります。これにはいくつかの事柄が考えられます。一つは今迄同様県歯会館の一室を借りるという方法。二つ目は市歯は現在地より出て他の場所に建てる。三つ目は現在地を借りて市歯は新たに建てる。以上の三つの事についてはこれで全てではありません。まだ色々方法はあると思いますし、このことは現在地に建設するという事を前提に考えて見たわけであります。現在300名を越す会員の歯科医師会で会館を保有しない会は考えられません。過去から現在まで県歯会館の御世話になって来た経緯を思う時、今後も県歯と共にある市歯会館の姿が一番のように思われます。何れにしても県歯が建設するという事が現実であるならば、これに対処する一番重要な事は経済的な事、つまり建設費用の事が問題ですがバブルの後、今歯科も大変な苦労を強いられている時代、会員の大金の出費については不可能な事は明かです。しかし私達の会館である事は事実ですし、たとえどのような建物であっても私達の力で建てるのであるという意識を持つ事は当然ですし、あたりまえの事と考えます。建設費用の事についても然りです。方法に於いてはまだまだ論を待つのは当然ですが、多くの話し合いの機会を持って県と市の会員の納得のゆく接点に従って動いてゆくことが肝要でしょうし、これも又当然の事であります。とにかく未来を見つめ、より高次元に於ける話し合いが待たれるところであります。

ここ3年、高齢化社会をむかえた老人保健計画、及び検診事業の拡大、多くの習慣行事等その事業の発展については著しいものがあつたと思います。文明の発達に伴って病氣も複雑を究め、感染症の対応策については今決定的な事もなく、不安を持ちながらの診療生活を送っている状態です。早くにその決定的な予防の方法とデンタルスタッフ側の十分なる理解の上に立った診療態勢の確立が望まれます。21世紀に向かって我々がより良質な歯科医療を提供する事によって、社会の信頼の上にたった認識と理解を得る事が出来るならば、歯科の存在が広く社会一般に認められ全てが良い方向に進む事については間違いのない事と信じます。

中根執行部2期目の最後半年になってまだ色々なことが山積みしているなかで、この終りなき戦いに多少の句読点をつける事。会長を補佐し執行を手伝う事が副会長としての任務を残り半年を頑張つてゆこうと思います。最後になりましたが、市歯300会員の先生方には昨年は参議院議員比例代制選挙に於いて我々の代表大島慶久先生を登載順位第4位の成績にて当選させた事はひとえに皆様先生方のお陰ですし御協力のたまものであります。心よりこの場をかりてお礼と感謝申し上げる次第です。かならずや6年間のうちに歯科の為に働いてくれる事と思います。

特集

歯の衛生週間

口腔衛生思想のさらなる普及を目指して 「8020イン熊本市」



平成5年5月29日(土)熊本市と熊本県歯科医師会主催の「8020イン熊本市」が県歯科医師会館3Fホールにて開催されました。この催しは、昨年までの母と子のよい歯のコンクールを受け継ぎ発展させたものです。当日、9時30分より「よい歯のコンクール」受付が開始され、50分より審査が始まりました。熊本市内の各保健所と保健センターより選出された10組の母親と3才児を対象として、口腔衛生委員4名が歯牙・歯列・咬合・歯肉・口腔清掃状態を審査しました。また10時30分より、80才以上の方々に20本以上の自分の歯を持っている方が、「8020表彰」の為に来所されました。これは市政日より5月号にて公募し、各保健所にて審査され選ばれた20名の方々です。11時より表彰式に入り、市衛生部長、市歯科医師会長の挨拶の後、与儀先生、吉良先生より「良い歯のコンクール」、「8020審査」の講評があり、続いて中根会長より「良い



歯のコンクール」優秀賞として、立坂泉子さん、結菜ちゃん親子、松島かおりさん、文成くん親子の表彰があり、県大会に熊本市代表として出場することになりました。また102才の中西エイ様を筆頭に、20名の方々が、市衛生部長より8020表彰を受けました。南部保健センター所長より閉会のことばがあり、記念撮影を行い、和気あいあいのうちに終了致しました。



熊本市代表の立坂、松島さんの親子

(口腔衛生委員 岩村公一)

早期発見・早期治療の重要性を強くアピール

歯科無料相談・検診，一斉歯科検診の新しい市歯の取り組み

(1) 歯科無料相談・検診

(熊本市役所1Fロビー)

歯の衛生週間行事の一環として、今年は6月7日(月)、8日(火)の両日、熊本市役所1Fロビーにて歯科無料相談及び検診を行った。



歯科相談を中心に受付を行う

歯科相談を中心に、口腔衛生の啓蒙、普及を目的として、希望者及び必要に応じて検診を行った。検診には、口腔衛生委員会と学校歯科委員会が担当した。刷掃指導等には、県歯科衛生士会と各保健所の衛生士の皆さんの協力で、小児から老人まで幅広い相談があり、歯科疾患に対する関心が高まってきたことを示している。

6月4日の各歯科医院での無料検診の良否を市役所ロビーの相談者に尋ねてみると、『歯科医院で診てもらうと、すぐどこかあつかわれる』という答えが返ってきた。従って、潜在的には、自分でウ蝕歯や、又は何らかの疾患があることは分かっていると思われる。

この根本には、歯科医師に対する不信感が根強く残っていて、相談のみの相談、悪く言うと苦情の為の相談になってはいないかと、自問自答してみた。

位相差顕微鏡やマイクロスコープを使い、早

期発見、早期治療の重要性を強くアピールした2日間でした。



検診は口腔衛生・学校歯科が担当

(口腔衛生委員 岡本 寛、斉藤忠継)

(2) 無料一斉歯科検診

(128診療所で814人の検診)

平成5年6月4日、本会が事業として行う歯の衛生週間における地域に根ざした歯科保健推進事業の一つとして、熊本市歯科医師会の全会員による無料一斉検診を行いました。各先生方の御協力のおかげをもちまして成功のうちに終る事が出来感謝申し上げます。

地域住民の為のボランティア活動でありましたが市内の266診療所で実施され、2時～4時の時間帯でしたが、なかには1日中実施された先生方、あるいは2時～4時の間アポイントは入れず本事業の為時間をあけて下さった先生がいると聞き、委員一同、会員の先生方の熱意に応える為にも、来年度に向け反省点を十分検討し、本年以上の活動が出来る様、努力していかねばならないと決意しております。

アンケート用紙の回収は128診療所(47.5%)で、814人の検診の報告がありました。また全会員に対する電話でのアンケート報告(新聞・市

政だより等で知り検診に来た人のみ)では560名で、次回PRの方法を十分に検討しなければならないと思いました。

今後共、委員会一同地域に根ざした歯科保健

推進事業の啓蒙活動を行って行きたいと思っております。御協力の程よろしくお願い申し上げます。

(口腔衛生委員 矢毛石豊 岡本 寛)

歯の衛生週間によせて

小児から高齢者までの一貫した生涯検診の必要性



本年度より本会の歯科保健推進事業として「8020イン熊本市」のテーマのもと、

① 母と子の良い歯のコンクール

② 8020表彰

③ 無料一斉歯科検診

④ 無料歯科相談

⑤ フッ素無料塗布と一般の歯科相談(各保健所で)

を熊本市・熊本市歯科医師会・熊本県衛生士会共催で行いました。この活動は歯科疾患の予防はもちろんのこと、早期発見・早期治療を目的とし、一人でも多くの患者の掘りおこしになればと思っております。

現在の歯科医師と患者数の推移を見ますと、昭和30年には24,800の診療所数が昭和63年には49,800と倍になっているにもかかわらず、患者数は人口10万対の歯科受診率を見ると、昭和35年に約808人だったのが、現在は990人とほとんど変化がありません。この事は診療所数がふえたためだけの問題ではないと思われます。今後潜在している患者に対する歯の衛生の啓蒙活動をどの様にするかと言う事を歯科医師が考えていく必要もあるのではないのでしょうか。

医師会のある先生に「どんな病気でも、まず

患者さんが、自分が病気である事を自覚し、治療を受けようとする意志がなければどんなに周りが心配しても意味がありません……」と言われた事があります。この「自覚」と「意志」をいかにもたせ、診療所に足を向けさせるかが今後の課題でもあります。

その為にも今後は、小児(妊婦の栄養)から高齢者までの一貫した歯科医療の大切さ、生涯検診の必要性、さらに歯科医療は口腔領域にとどまらず、全身の健康や生活の質と密接に関連していることに対する市民への深い理解をあたえる様に、行政と歯科医師が連携をとり、また会員が一丸となり啓蒙活動を進めていかなければならないと思っております。

これからも会員のお役に立つべく、委員一同活発に活動して行きたいと思っております。何卒よろしく御理解の上御協力のほどよろしくお願い申し上げます。



(口腔衛生理事 矢毛石豊)

アンケート報告

5月29日(土)に熊本市と熊本市歯科医師会主催の「母と子のよい歯のコンクール」と「8020運動」の表彰式に参加された10組の母と子と17人の高齢者の皆さんにアンケートを行った。これを集計することで、外部の人の歯に対する認識及び知識の程度を知り、これからの歯の衛生週間の運動の進み方や私たち歯科医師の一般の人々に対する教育や指導の手助けになればと思い、まとめてみた。

母と子のよい歯のコンクール参加者アンケート結果

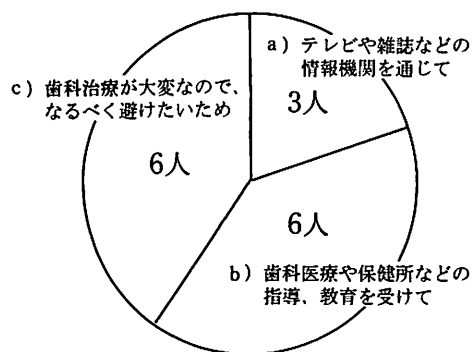
1) 構成

	28歳	30歳	31歳	32歳	33歳	36歳
母親年齢	2	2	2	2	1	1

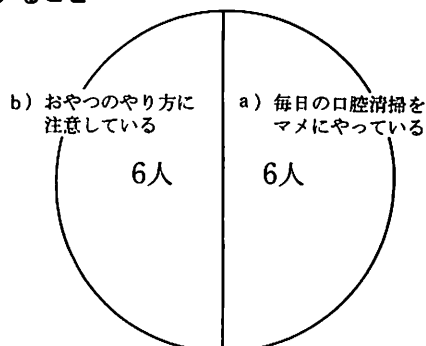
	3歳	4歳
子供年齢	8	2

	3人家族	4人家族	5人家族
家族構成	1	7	1

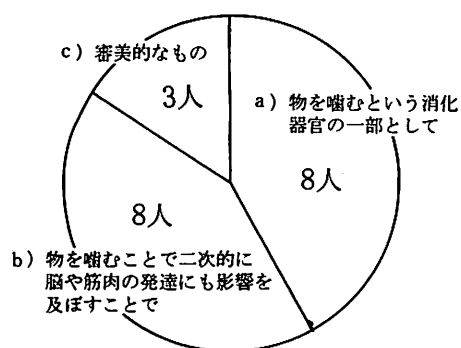
2) 歯の大切さを何から実感されましたか



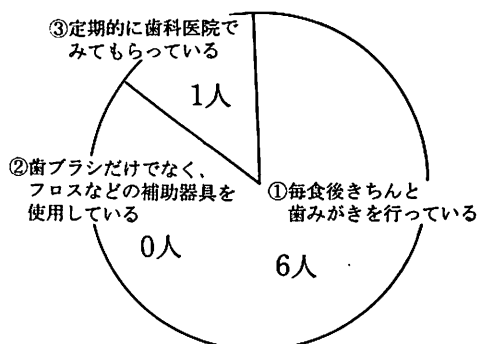
4) 日常生活の中で歯の事で注意、留意されていること



3) 実際、歯は何の為に大事なのでしょうか

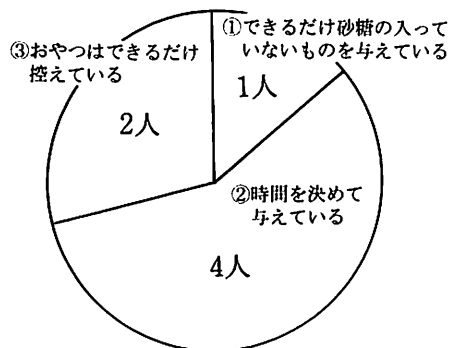


a) 毎日の口腔清掃をマメにやっている

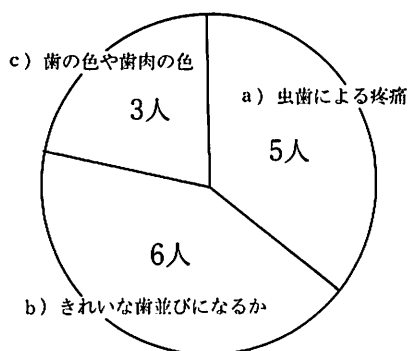


その他 (歯は生きている上で大切な物だと思う。いくつになってもやはり自分の歯でありたいと思う)

b) おやつのやり方に注意をしている

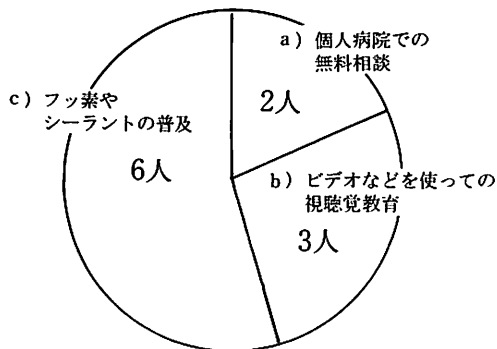


5) 子供の歯の事で一番関心のあること



その他（ずっと虫歯のないきれいな歯でいられるか）

6) 現在歯科医師会は、歯の衛生週間に協賛する形でイベントを行っています。別にこんな事をやってもらったら参加しやすいとか、興味がある事



「8020運動」表彰式参加者アンケート

1) 参加者性別

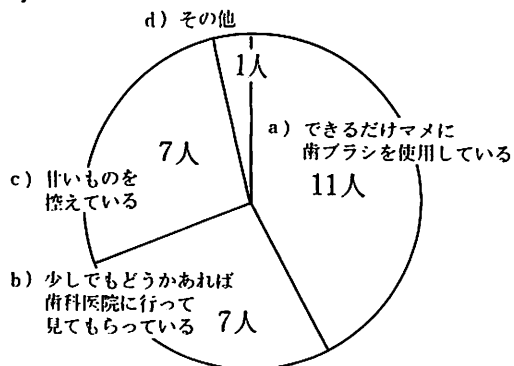
a)

男 8人 女 7人

b) 年齢

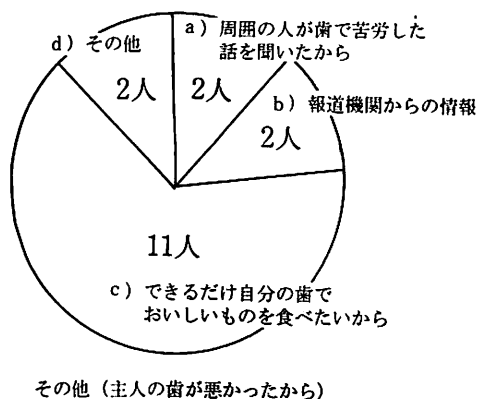
80歳	1人	86歳	1人
81歳	3人	87歳	1人
82歳	3人	90歳	1人
83歳	2人	93歳	2人
84歳	1人		

2) 多くの歯を残す為に注意、留意されている事

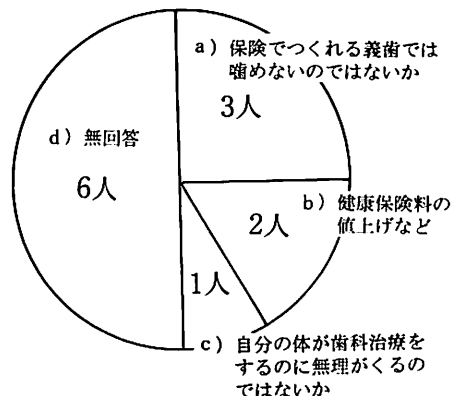


その他（牛乳コップ一杯を昼前昼後に飲む）

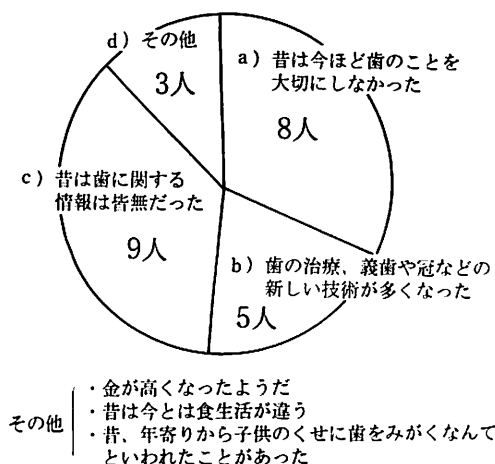
3) 自分の歯を大切にしたいと思った動機



5) 最後に今からの歯科治療について心配な点



4) 昔と今とを比べて歯に関することで変化したことや、認識を新たにしたこと



6) 現在の歯科治療や歯科医師会の活動について注意点があれば

- ・歯に関心をもつ社会になり、いい事だと思う。
- ・何かあれば近所の歯科医院に行くので安心している。

(アンケートをまとめてみて)

ほとんどの家族が核家族であることと、食生活を楽しみたいという数が多いのは、予想通りであった。それに反したのが、歯に対する認識が高いと思われた母親たちがフロスを使用していないこと。高齢者たちが自分たちの将来に関して、あまり心配していないし無関心であることでした。

また母親たちの関心は、子供の歯並びに集まった。このことは、矯正にかかる費用を心配しているのか、また歯列不正から起こる歯周病、ウ蝕を心配しているのか不明である。

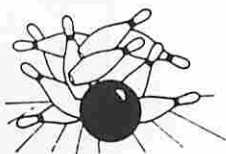
これらのことを考えて、まだまだ私たち歯科医師が世間の人の教育、指導する余地は多くあるというのが実感でした。もっともっとアピールする場や時間をつくりたいものです。

(広報委員 永野 忠)

小島支部 団体優勝

第17回熊本市歯科医師会 親睦

①ボウリング大会



昨年より多い304名の参加を集めた会場（5月29日 交通センターボール）

恒例の熊本市歯科医師会親睦大会は今年で17回を数え、昨年同様ボウリング大会が5月29日(土)、交通センターボールに於いて会員・家族・従業員の参加のもと盛大に行われました。

昨年より多い304名の参加があり、12支部を前半・後半に分け、2時より試合開始となりました。

12支部対抗の団体戦及び男女別の個人戦で行われ、団体戦は各チーム（支部）の上位10名の合計点により優勝・2位・3位が入賞、又個人戦は優勝・2位・3位及び10位・20位・30位……290位・300位までの飛び賞があり、大熱戦が繰り広げられました。

今年は特別に会長賞・国保組合賞・専務賞・理事賞等が加わり、個人戦では40個もの多くの賞品が出ました。女性及び中学生以下は1ゲー

ム+30ピンのハンデが与えられ、又ボウリング部の先生方は-20~-30ピンのハンデがあり、各自2ゲームの総得点で順位が決定。

昨年の団体戦では優勝南部・2位東部2・3位小島でしたが、今年は小島が昨年より90点も多く伸びて優勝を獲得しました。

団体と個人の3位までの成績は右ページ下のとおりです。

今年から始まった始球式



表彰式・懇親会

ボウリング大会の表彰及び懇親会が当日7時より交通センターホテルに於いて、会場いっぱいに埋め尽くした中で行われました。中根会長、立山国保組合副理事長の挨拶の後、昨年優勝の南部よりトロフィーの返還があり、中根会長より団体及び個人の表彰と賞品が授与されました。又、中根会長、立山国保組合副理事長、関専務、本田理事、岡田理事、寺脇理事の各先生より賞品を出してもらい、適当な順位(番号)を選んで賞品を授与されました。

関末喜先生の乾杯により宴会にはいり、ボウリングの後のビールも格別でいろんな飲み物、盛り沢山の食事と共にボウリングの話に花が咲きました。



乾杯／関末喜先生

懇親会も2時間があっという間に過ぎ、飲み足りない人は2次会へと話しが移って行き、関剛一先生の閉会の辞をもってお開きとなりました。ほろ酔い気分でも賞品の忘れものは一つもありませんでした。

団体戦順位

優勝	小島	3052
2位	東部2	3020
3位	東部1	3009
4位	南部	2985
5位	川尻	2967
6位	北部2	2962
7位	北部1	2900
8位	東部4	2877
9位	東部3	2810
10位	中央	2739
11位	北部3	2733
12位	西部	2655

個人戦

男子

優勝	坂元 和彦 (小島)	(-60) 204・215=359
2位	篠原 威雄 (小島)	183・171=354
3位	塩田 仁 (西部)	174・155=329

女子

優勝	木庭 純子 (東部1)	(+60) 182・127=369
2位	吉良 直子 (小島)	(+60) 144・156=360
3位	坂本 多恵 (南部)	(+60) 142・155=357

(厚生委員 吉永誠一郎)

ボーリング場・パーティ会場でのワンショット



両手に花、団体・個人ともに優勝



来年はガンバリマス！
(昨年度優勝南部)



おかし、練習のしすぎかそれとも実力？



見よ！この勇姿を！



昼食まで抜いて、この夕食にかけるぞ



最後は念力ジャー

第13回 ビデオ研修会

「最新の接着充填」

学術解説 清 村 正 弥
 社保説明 本 田 亘

6月1日(火)、初夏を思わせる日にもかかわらず、約60名の受講者参加のなか、学術及び社保委員会主催による、第13回ビデオ研修会が行われた。



接着レジン
の最新情報と
理工学的考察を
講演された
清村先生

中根会長の挨拶の後、早速東京医科歯科大学保存学教授細田裕康先生による「新接着システムによる保存修復へのアプローチ」のビデオ研修が行われた。

引き続き「最新の接着充填」と題し、接着充填の造詣が深い、九品寺で開業の清村正弥先生の学術講演が行われた。

講演では接着レジンの理工学的見地から最新情報まで幅広い内容であり、明日からの臨床に活用できるものばかりであった。

そのいくつかを要約すると、

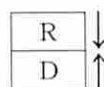
○現在多く使用されている歯質接着性レジンとは、

エナメル質、象牙質を同時に処理して接着するものである。(例スーパーボンド、クリアファイル等)

○接着性の問題は、研削象牙質上にあるスメア一層の処理方法(エッチング、酸触、コンデショニング)とモノマーを前処理した象牙質内への拡散されるかによって効果の違いがある。

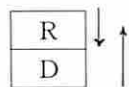
○レジンと象牙質の接着には、下図の様に密着と樹脂含浸層(エナメル質、象牙質とレジンが接している歯質側に生成する)

密着の場合、ひっぱり係数が $60\text{kg}/1\text{cm}^2$ で樹脂含浸層が存在する場合 $180\text{kg}/1\text{cm}^2$ もある。



密着

(レジントグ必要)



樹脂含浸層

(レジントグ不必要)

○レジンによる歯髄刺激性については、レジンが硬化しているという条件のもとであれば、その原因はレジンと歯質間の辺縁漏洩によるもので、レジンそのものの歯髄刺激性はない。など、まだ書きあげられない程内容が豊富であった。学術講演に続き、本田亘社保理事によるレジン充填等に関する保険請求の解説が行われ、日常臨床に即、応用できることばかりであった。

(学術委員 奥村敏之)

熊本市歯科医師会学術講演会

『歯周治療と院内感染予防』



講師 船越栄次先生
(福岡市開業)

去る、7月3日(土)午後2時30分より、熊本県歯科医師会館、3Fホールに於いて、福岡市開業の船越栄次先生により、“歯周治療と院内感染予防”と題して、講演会が開催されました。



120名の多数の参加者を集め、最新の歯周治療と自院の感染予防を解説された会場（GTR法とDFDBA法）

講演の概要は

①治療計画の立て方

- a. 臨床所見と診断
- b. 患者の希望
- c. 経済的問題
- d. 治療期間
- e. 術者の知識技術
- f. 患者の治療によせる関心と協力度

②歯周治療の限界

- a. 3度以上の動揺歯
- b. 根間中隔が完全に喪失した歯
- c. 根尖部まで骨吸収が波及した歯
- d. 根尖3mmまで至った4壁性骨欠損
- e. その他（縦破折歯等）

③新しい治療法としてGTR法（組織誘導再生）

- a. GTR法の原理
- b. GTR法の応用及び、併用療法
 - 1) 骨移植+GTR法
 - 2) 骨移植+根面処理法
 - 3) 骨移植+歯肉弁歯冠側移動術
 - 4) GTR法+根面処理法
 - 5) GTR法+骨移植+根面処理法
 - 6) GTR法+DFDBA（脱灰凍結乾燥骨）の応用

を多数の臨床例を通し、詳しく述べていただき、特にGTR法の応用で、保存処置の可能性が大きく広がった事がわかりました。

それに引き続き今話題の院内感染症について触れられ、B型肝炎、エイズ等の院内感染経路・感染力・院内感染のリスクなど一般論のあと、アメリカにおいて歯科医師4,000人程度がすでに感染している現状などお話しいただきました。

最後に、船越先生が、実際に行なっている院内感染対策、1) タービン、2) リーマー、3) パー、4) 基本セット、5) チェアーサイド、

等を1つ1つ具体的に話された後、対策にかかる経費と保険診療のギャップが問題になるなど述べていただきました。

講演内容が注目されている歯周治療と院内感染対策という事で、当日はコ・デンタルスタッフを含め120名を越す出席があり有意義な講演会となった。

(学術委員 有吉 洋)



〈ちょっとBREAK〉 パートI

知られざる日本語ワープロ1号機

ワードプロセッサという言葉は、フード（食品）プロセッサをもじってアメリカでつくられた造語です。日本語ワープロは、字の種類の多い漢字を使って文字が書けるようにした点で、画期的な発明といえるでしょう。ワープロ出現以前は、『知的生産の技術』の梅棹忠夫氏を始め日本人の誰もが、漢字の壁の宿命ゆえに、日本語をタイプするなんて不可能な夢だとあきらめていたものでした。

さて、我が国初の日本語ワープロは、昭和53年10月に東芝が発売したJW10とされています。ハードディスク1台とフロッピーディスク2台を備え、システム一式で63万円。完成度はとにかくすでに先進的な仮名漢字文章一括変換方式をとっていました。ところが、発表の早さの点からいえば、JW10より1年ほど前の昭和52年5月、毎年晴海で開催されるビジネスショーにシャープが参考出品した機械（仮名漢字文節変換）があったのです。しかし、これはマスコミに華々しくとりあげられず、商品化も遅れて、JW10に名をなされたというわけです。

なお翌年の9月にはシャープも第2号機を295万円で発売し、巻き返しに出ています。ちなみに、富士通オアシスや日本電気などの参入は、さらにその翌年の昭和55年5月でした。その後のワープロの低価格化と高機能化の進展は驚異的。昭和55年当時は年間5,000台ほどの出荷台数でしたが、現在では数百万台、我々の身近な道具となっています。

地下の所有権はどうなっているの？

地価高騰で、都心部に土地付1戸建てを買うことなど、一般人にはかなわぬ夢となってしまいましたが、これもすべて日本が小さく狭いからと文句をいってもしかたありません。そこで土地がダメなら空中や地下は……、とも考えますが、残念ながら空中や地下であっても、土地所有者がその権利まで握っているのです。

民法207条に「土地の所有権は、法令の制限内において、その土地の上下に及ぶ」とあり、原則では地下はその土地所有者のものなのです。ただ、「法令の制限内において」とあるので、都市計画法、道路法、土地収用法などによって制限が加えられます。

私たちがお世話になっている地下鉄は、当然その上に普通の家や建物も建っています。この場合は、土地の所有者からその土地の所有権の一部を譲り受ける契約が結ばれて、区分地上権が設定されます。この区分地上権は民法269条の第2項にあります。

自分の家の下を地下鉄が走るというのは、あまり気持ちのよいものではないし、その土地の所有者は、その土地に建てる建物の総重量や施工法について制限されてしまいます。当然補償金が出ますが、場所や土地状態によってその額はさまざまです。

土地の補償金は、地表面の土地価格×何パーセント、で決まるようです。したがって、もし自分の家の下に地下鉄ができるなら、その地価は高ければ高いほど補償金も高くなり、やっぱり土地を持っている人がますます得することになります。

〈究極の大雑学より〉

委員会だより

学校歯科委員会

第14回

熊本市学校保健会総会

並びに学校保健合同研修会開催

6月24日(木)13:30～16:30迄、産業文化会館（7F）において、「自ら進んで健康生活を実践する児童、生徒の育成」～豊かな心を育てる健康生活の在り方を求めて～のテーマで行われました。

総会の席上、学校保健功労者の表彰があり歯科医師会では、吉良直衛先生、田中宏先生、太田憲生先生が表彰されました。

総会後、「現代の子供の心と体の健康について」をテーマに、熊本大学医学部発達小児科の三池輝久教授の講演があり、『現代の子供達が見せる病理像は日本の親達の年代と若い世代の埋められない溝から引き起こされている部分が多い。これを理解するには我々大人の世代がいかにかに子供達の生活環境、価値観を理解するかにある。言い換えれば我々が持っている我々の時代の子供観から、現代を生きる子供達の子供観への書き直しが必要である』との講演がありました。



本会から学校保健功労者の表彰を受けられた
田中宏先生、吉良直衛先生、太田憲生先生

(学校歯科委員 齊藤 健)

新人スタッフレベルアップセミナー

4月24日(土)25日(日)の両日、新人スタッフの材料実習、ブラッシング指導研修会が県歯会館3階ホールにおいて、G. C. 社九州営業所のご協力により開催された。

第1日目は午後2時半より材料の講義と実習が29名の参加者を得て行われた。実習においては下記のように3班に分けて順次指導が行われた。

- 1) アルギン酸印象材+寒天による連合印象採得から石膏注入まで
- 2) セメント・充填材について
 - ・合着用セメント練和実習—リン酸亜鉛セメント、アイオノマーセメント
 - ・充填用セメント練和実習
 - ・CR充填、アマルガム充填についての説明とデモ
- 3) シリコーン印象材練和、印象採得
 - ・HYエグザフレックスパテ+インジェクションタイプによる連合印象
 - ・トレー用レジン(オストロン)による個人トレー作成後、エグザフレックスにより連合印象採得実習

以上の三つの内容をローテーションしながら基礎から効率よく指導を受けた。出席者からは“実際に見て、触れて、使って実習するのでたいへん分かりやすかった”との評価を得た。

第2日目は午前9時半から午後12時半までブラッシングセミナーが28名の参加者を得て行われた。まずはじめに、ブラッシングの目的や指



2日間充実した講習内容をうけるスタッフ

導法、その時のコツ等について講義があった。指導法として2度染め方式、ワンポイントレススン方式、チャート記録方式の三つのタイプがあるが、大切なのは指導者と患者とのコミュニケーションをはかり、日頃から患者さんとなかよくし、良い相談相手になれるように心がける。

また、ブラッシングの方法として、毛先磨きを指導し、圧を加えすぎないで(押しすぎは毛が開いて、かえってブランクがとれない)、小さなストロークで磨くように指導する。短時間で楽にきれいにできる方法を見つけ、部位によって歯ブラシの角度をかえて毛先1本1本を歯面にあたるように患者さんの生活状況や習慣にあったブラッシングを見いだすよう指導されていた。その後、ブラッシングの器具紹介、実習と続き、すべての日程を終了した。

両日とも参加された皆さんは真剣に取り組んでおられ、習得された技術を今後の臨床の場で患者さんのために遺憾なく発揮され、よりよい医院づくりにご利用いただければ幸いです。

(医療委員 田中弥興)

救急時支援病院利用状況 および代診制度依頼報告

(1) 救急時の支援病院利用状況

成人病患者や高齢化による有病者の増加とともに、歯科治療に伴う事故の可能性も高まっており、救急事態が発生したとき速やかに、かつ適切に対処する必要があります。市歯会では後掲の4病院を支援病院として協力をお願いしておりますが、当委員会が昨年行いましたアンケートでは6件の利用が回答されております。

神 経 系	2 件
脳出血後搬送	1 件
狭心症発作後搬送	1 件
誤 飲	1 件
理 由 不 明	1 件

秘アンケートの一部で詳細不明ですが、先頃日本歯科麻酔学会の調査アンケートでも1985年～90年の6年間に麻酔の後のショックや激痛が引き金となったなど歯科治療時の事故が全国で約700件報告され、うち死亡22人で、重症が約1割であったと報告されています。

全身的偶発症の予防対策や救急処置の研修も必要と思われます。四つの支援病院は、

熊本赤十字病院	T E L 384-2111
---------	----------------

熊本中央病院	364-6161
--------	----------

済生会熊本病院	351-0099
---------	----------

熊本地域医療センター	364-3311です。
------------	-------------

※こちら熊本市歯科医師会〇〇歯科医院です。緊急事態が発生しましたので緊急応援をお願い致します。担当者がでたら、状況を説明し、指示をうけて下さい。

(2) 代診制度依頼状況

病氣入院などで先生方が診療できなくなった時、市歯会が仲介し、代診の先生を依頼する代診制度は発足後、4件ありました。

院長死亡につき患者整理	1 件
病氣長期療養を要するための患者整理	1 件
院長手術入院	1 件
院長急病のため	1 件

依頼先は…

鹿児島大第1口腔外科	2 件（各1ヵ月）
某歯科勤務医+鹿大第1口外	1 件（1ヵ月）
某歯科勤務医	1 件（2週間）でした。

費用は日当2万円、宿泊、交通費は院長もち、食事は代診本人です。

（医療管理理事 赤城公德）

口腔衛生委員会

熊本市立幼稚園児のフッ素塗布

7月13日、14日の2日間、熊本市立幼稚園（一新、五福、古町、川尻、向山、楠）にて園児を対象としたフッ素塗布と歯磨指導が行われた。

本事業は、熊本県歯科医師会衛生士学院実習の一環として行われている。

まず担当歯科医が、園児の口腔内の健診を行

い、う蝕の状況、歯並び、口腔清掃の状況を診査した。次に衛生士学院実習生による、“ムシバ予防とハミガキ”についての趣向を凝らした劇が行われ、園児とその保護者は歯の大切さ、口

腔衛生の重要性が理解できた様子であった。

最後に、園児に対するフッ素塗布が行われ当日の日程が終了した。

(口腔衛生委員 寺本豊徳、原田教二)

社保委員会

指導講習を目的とした社保説明会

平成5年6月23日、25日の両日、午後7時30分より熊本市の全会員に対し指導講習を目的とした社会保険説明会が、県社保担当理事の片山幹夫先生をお迎えして県歯科医師会館で行なわれた。

梅雨時の足もとの悪い中、両日あわせて220名を越える多数の先生方の出席があり、皆熱心に聴講した。

中根会長の挨拶の後、片山理事により保険請求の中で最近間違いの多いものを指導され、今後は是正されるよう要望があった。その後、審査委員会の内容および個別指導について説明があり最後に質疑応答と、約1時間半充実した社会保険説明会であった。

指摘された請求間違いの多い項目

- 1、病名もれ、病名間違い
- 2、部位、病名の月毎変化（部位、病名が月が変わると変化したり、消失したりする）

- 3、摘要欄記載もれ（摘要欄記載事項は必ず記載すること）
- 4、一般検査の数と部位の不一致（一般検査は一口腔単位ですること）
- 5、除石、Pcur の数の不一致
- 6、P 管理料の算定誤り（P に関する処置がないのに算定）
- 7、窩洞形成（単純、複雑）と修復物（単純、複雑）との不一致
- 8、即処した後 Pul に移行した場合、即処をそのまま算定しているもの
この場合は即処を KP に変える。修復料はそのままでよい。
- 9、適応外のブリッジ
- 10、義歯指導料の算定誤り（老人と一般の区別、特に老人の指導料算定誤り）
- 11、6ヶ月以内の義歯作製

(社保委員 津田勝久)



毎日の記帳をきちんとすることが第一であると強調された片山社保理事



2日にわたり、220名の会員を集めた説明会会場

訪問歯科診療報告

熊本市在宅寝たきり者歯科保健推進事業

主任歯科衛生士 本田志保子

早いもので在宅寝たきり者歯科保健推進事業も、7月1日より3年目に入りました。

初年度は何もかも初めての事ばかりで、手さぐり状態でやってきましたが、平成4年度になり少しずつではありますが先が見える様になり、患者さん達とも仲良くなり、色々なお話を聞かせて戴ける様になりました。

おほめの言葉、要望等、私だけが聞く事は勿体ないと言う思いがありました。そこで依頼者の方へアンケートをお願いしました所、多くの返答をいただきました。

又、平成4年度の実績報告書が出来ましたの

でご報告致します。

協力医の先生方のご努力の跡が見える素晴らしい数字が並んでいます。特に171名の申込みがあつて、171名全員の方々を検診出来た事は、大変嬉しく思いました。前年度には、申込みをされても検診を受けられる前に亡くなられたケースもありましたので…。

この制度も広く世間に浸透しますと、益々申込みが多くなって来ると思います。とても大変な仕事だと思いますが、今年度も先生方の暖かいご協力を宜しくお願い申し上げます。

実 績 報 告 書

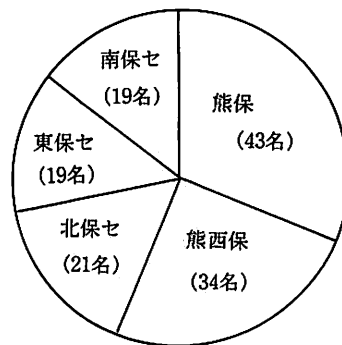
(平成4年4月～平成5年3月)

1) 平成4年度申し込み者数

	申し込み数	訪問依頼数	訪問者実数	検診 治療及び指導 延訪問回数
平成4年4月 ～平成5年3月	171名	171名	185名 内繰越(14)	1058回

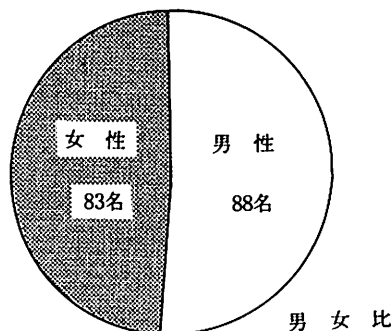
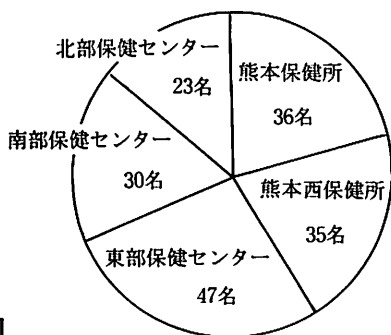
2) 協力歯科医師数

熊 保	熊西保	東保セ	南保セ	北保セ	計
43名	34名	19名	19名	21名	136名

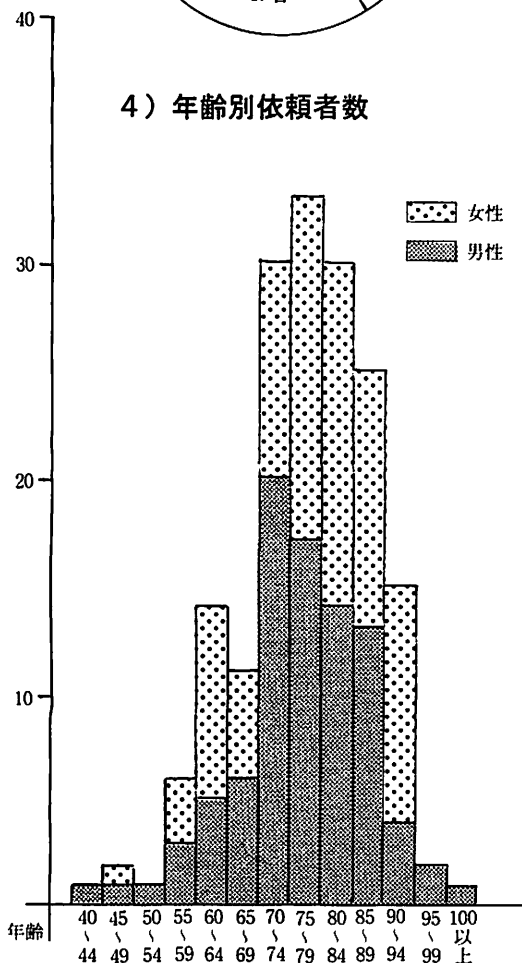


3) 保健所・保健センター別依頼状況

保健所保健センター	男 性	女 性	計
熊 本 保 健 所	20	16	36
熊 本 西 保 健 所	15	20	35
東 部 保 健 セ ン タ ー	25	22	47
南 部 保 健 セ ン タ ー	16	14	30
北 部 保 健 セ ン タ ー	12	11	23
計	88	83	171



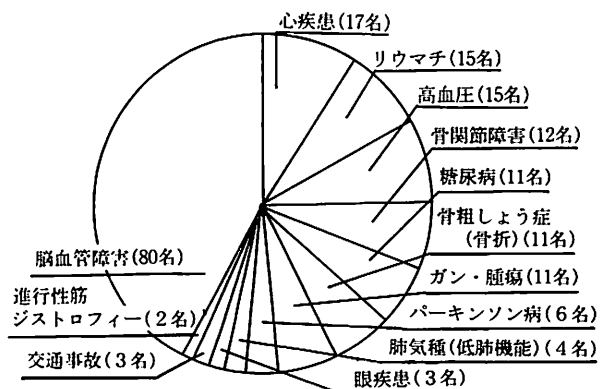
4) 年齢別依頼者数



5) 寝たきり者平均年齢

男 性	女 性
76.3歳	80.9歳

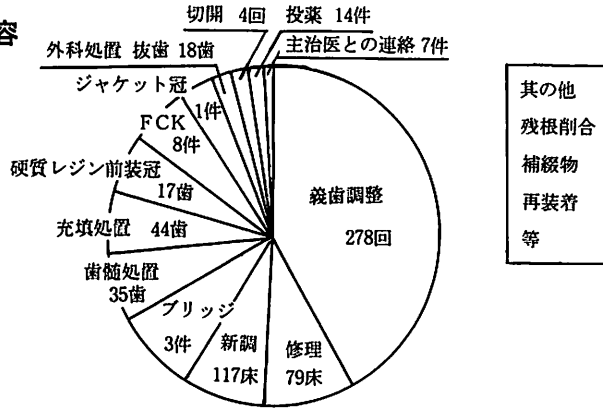
6) 寝たきりになった理由 (重複)



その他

腰痛 頸椎損傷 貧血 椎間板ヘルニア 脊髄損傷
てんかん 肝臓病 筋力低下 痴呆 脳性マヒ 先天性マヒ
後従じん帯骨化症 事故による脳損傷 リットル氏病
神経痛 アルツハイマー 動脈硬化 老衰 骨髄腫等

7) 治療内容



8) ADL 状況

(Point)

	初診月	4ヵ月後
座れる状態	93	98
話せる状態	148	149
聞こえる状態	156	166
見える状態	174	178
着替えの状態	73	87
食べれる状態	130	149
風呂に入れる状態	60	62
排便の状態	93	93
人づきあいの状態	142	157
歯ミガキの状態	142	157
食事の状態	86	124

9) 口腔状況

(Point)

	初診月	4ヵ月後
痛みの状態	118	172
出血の状態	150	172
ただれの状態	147	178
食べる状態	61	147
唾液の状態	148	171
ものをのみこむ状態	157	173

<患者さんからの声>

桜のつぼみもふくらみ始めもうすぐ美しい桜の花の季節が今年もきます。

この度は、歯科の在宅訪問をして頂きまして有難うございます。近頃の障害者の方から在宅訪問の事をきき半信半疑ながら保健所へ電話しましたところ親切に教えて頂き、今では早速治療して頂いております。胸から下のマヒの私には段差があったり、体をかかえてもらったり、又子供に仕事を休んでもらったりで、行きたくともなかなか行けず、一番大事な歯なのに痛み出していくので長期になったりします。

悩んでいた矢先の事で心から喜んでおります。何も出来ない分、感謝の気持ちでペンを取りました。多くの医療機具をテキパキとならべられたり、又先生方を見るたびに健康ならこんなに迷惑をかけなくて済むのにと胸が一杯になります。しかし身体は不自由であっても心だけは明るく、廻りの人の事を思いやり精一杯生きていきたいらいいなあと願っております。

人の為に役立つ事は大変な事だと思いますが、後にはいい人生だったときと思われれることでしょう。頑張ってください。

乱筆、乱文でお許し下さい。今日も一日御苦労様でした。

横 田

〈アンケートより〉

ケース 1

★在宅寝たきり者に対する訪問歯科検診があることを何で知りましたか？

平成4年5月頃慈愛園に於いて歯科医師会より〇〇先生が御出でになり歯の手入れ其の外色々御話が有りました。其の時訪問歯科検診があることを御聞きしました。

★今回訪問歯科を希望された理由は何ですか？
(例) 義歯を入れたい。

①患者の歩行困難のため、尿の回数が多い為、歯科医院に於いては治療が出来かねておりました。②義歯を入れる、そして食事ができ健康な生活ができるのを願って希望しました。

★訪問歯科を受けられたご感想をお聞かせ下さい。

高齢者又障害者でもある患者に対して、在宅治療も充分時間をかけられ、医療器具も設備された訪問治療には感謝致しました。

衛生士の皆さんミニ機器ではあるけれども家庭内にもちこんで治療の援助にも、ほほえみをもってきばきとやって頂く有様は人の少ない医院では見られません。

★この制度についてお気づきの点やご希望がありましたらお聞かせ下さい。

此の後も高齢者も益々増加し障害者の方々にも願ってもない制度に感謝し必要有る患者さん達は遠慮なく利用して一日も早く満足な食事が出来て健康な日々が来るのを迎えたいと思います。他人事ですけれども、患者の身になって家族の方々もプライバシー等々は歯科医師会でも守って頂くので共に今後も利用させて頂きたいと思ってます。

この制度が出来ているのをまだ知っておられない方もいて気の毒だと思ってます。チャンス

があれば歯科衛生士の方でも、御話をして頂きたいと私は願っております。

ケース 2

★在宅寝たきり者に対する訪問歯科検診があることを何で知りましたか？

保健所の保健婦さんに教えていただきました。

★今回訪問歯科を希望された理由は何ですか？
(例) 義歯を入れたい。

14年間、何回が義歯を作っていただきましたがどれも合わず、寝たきりになりましてあきらめて居ましたが、保健婦さんにすすめられてもう一度お願いしたいと思って申し込みました。

★訪問歯科を受けられたご感想をお聞かせ下さい。

下に1本だけ歯が残っている状態で、食事小さくきざんだ柔らかいものか、ミキサーにかけたものしか食べられませんでした。上下義歯を入れていただき、10歳位若くなりまして、本人も鏡を見て大変喜んでおります。又、食事家族と同じものが食べられる様になり、14年振りに筍を食べて、大変感激致しました。

往診をして下さった先生を始め、皆様方に心より感謝致します。ありがとうございました。

★この制度についてお気づきの点やご希望がありましたらお聞かせ下さい。

私共の様な家族が、もっともっと増える様に、皆様方のご活躍を心よりお祈り致します。

医療・保健・福祉の連携を目指して

— 高齢者に対する熊本市歯科医師会の取り組み方 —



迫 雅 裕
(長寿の里歯科診療所)

本文は第34回日本歯科医療管理学会
(平成5年6月20日：仙台) で述べた
ことの概要です。

総務庁発表によると、21世紀初頭には国民の4人に1人が65歳以上の高齢者の超高齢化社会が出現すると言われています。

国は平成2年度から高齢者保健福祉10ヵ年計画（ゴールドプラン）を作成し、対応に努めてきましたが、寝たきり、痴呆性老人の例を挙げるまでもなく、「福祉」と「医療」の谷間におかれがちな人々の存在が有ります。

このような現状に対処すべく本年4月より、熊本市歯科医師会、熊本市の協力の下、福祉施設であるデイサービスセンター内に、医療機関の歯科診療所が設置されるという、興味ある試みが開始されました。



平成4年4月による始動したデイサービスセンターの全容（写真1）

写真1が熊本市デイサービスセンターの全景です。設置主体は熊本市、経営主体は熊本市社会福祉事業团となっています。約4万平方メー

ターの敷地に、「バリアフリー」の観点から鉄筋コンクリート平屋建てとなっており、全国でも最大規模の施設です。

写真2



写真2は利用者の送迎風景です。毎日リフト付バス（3台）で行い、寝たきりや車椅子の方でも可能です。

写真3



写真3はダイルムでの日常生活動作訓練の様子です。マンツーマンの指導で身体的機能の向上を図ると

ともにレクリエーション等を通して、交流を深め、充実した時間が過ごせるよう配慮されています。

写真4



入浴は利用者が最も楽しみにしていることのひとつです。浴室はABCと3室設置しており、それぞれ身体状況に応じて選択できます。浴室C（写真4）

は寝たきりや車椅子の方が安心して入浴できるよう、スイッチを押せば床面から浴槽が上がるシステムを導入しています。

写真5



写真5は車椅子、写真6はストレッチャーに乗ったままのデンタル撮影状況です。レントゲン室、診療室入り口を広くとってあるために健常者と同様、診断力の高い物が得られます。また、術者に対する被爆も避けられます。

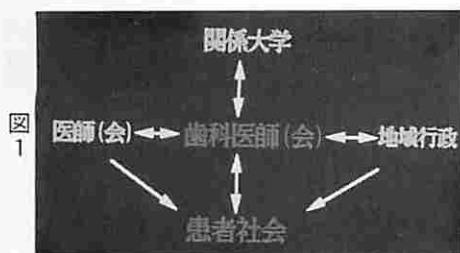
写真7



写真7はストレッチャーを用いた、歯科衛生士による口腔清掃風景です。当診療所で用いているユニットはモリタ社製 SIGNO S 21改良型であり、パキュームタイプ、フットコントローラーパイプともに

延長することで、水平診療の様に行うことが可能です。

筆者は昨年北九州市で開催された、第33回の本会で、病院勤務医の立場から高齢者の現状と問題点を述べました。その中で図1の結論を得ました。



高齢者医療の場合、地域行政、関係諸団体を交えた組織的、長期的展望に立った歯科医師会

の取り組みが確立されるべきです。

そのためには事業が継続して行われるためには確固たる財源が必要となってきます。当診療所の場合、運営費は熊本市の全面負担、運営は熊本市社会福祉事業団の協力の下、熊本市歯科医師会が行っております。

ちなみに筆者、および歯科衛生士2名は熊本市歯科医師会の医療職職員という立場です。

医師会を初め、関係諸団体とは全面的協力を取り付けており、機能的応援機関としては熊本市市民病院になっていただいています。

図2

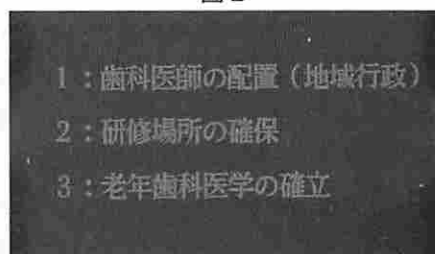


図2は前回の本学会で挙げた高齢者医療の問題点でした。熊本市の場合、2つの保健所、3つの保健センターにそれぞれ歯科医師、歯科衛生士が配置されており、行政との対応がスムーズに行えます。第2項目の研修場所として国立熊本病院、熊本赤十字病院が挙げられます。

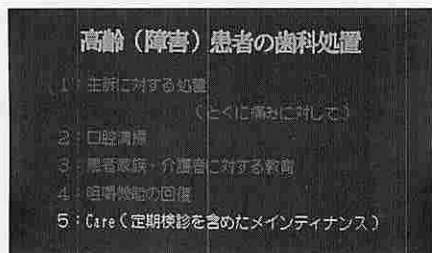
問題となっているのは第3項目です。学問的背景が少ないために臨床の場では非常な混乱が見られます。医学部において、老年医学が確立されてはや20年近くになるだろうということから見ても早期の充実が望まれます。

当診療所では図3に示すような一連の流れで診療を行っています。特に5番目のCareの充実を重視し、将来的には平成3年7月から行われている、在宅歯科診療事業との有機的な連携をはかりたいと思っています。その結果、CareとCureの機能的分離が確立し、さらには福祉とのつながりが深まるものと思われます。

在宅歯科診療事業は歯科医療が1対1の関係

だけでなく、社会への関わりについての契機になった点で非常に評価されるべきだと思います。

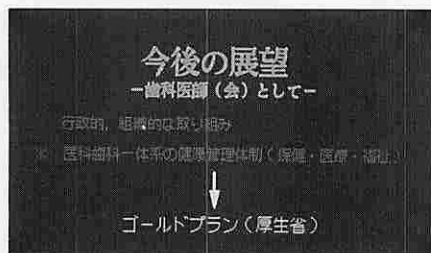
図 3



今後図4に示すように、高齢者問題においては行政的、組織的な取り組みと医科歯科一体系の健康管理体制が必要だと再認識すべきです。その結果、保健・医療・福祉の連携が充実し、ゴールドプランがさらに進展されるものと思われます。

本事業は週1回のデイサービスセンターの利用日を最大限に活用することで、身体的、社会的要因から医療と福祉の狭間に存在する人々のADL向上を目的として開始されました。今回は事業の概要を述べるに止めざるを得ませんが、今後定期的なメインテナンスを行った結果、口腔内環境の維持、保全が全身状態の向上にいかに関与するか統計的考察を行いたいと思います。

図 4



本事業が成功、発展しますように御意見、御指導さらには御批判をも頂けましたら幸いかと存じます。

稿を終わるにあたり、共同演者になって頂いた中根俊吾先生、学会場で後声援していただいた伊東隆利先生、同事務長伊藤三樹男氏、さら

に添島歯科医院事務長佐藤哲夫氏に誌上にて御礼申し上げます。

付）学会懇親会会場にて厚生省健康政策局歯科衛生課長佐治靖介先生（写真8右端の人物）と御会いでき、本事業を御説明申し上げたところ、既に御存じだったばかりでなく、「非常に注目している。」との御言葉を頂きました。



写真8

厚生省健康政策局歯科衛生課長から激励の言葉を頂く

~~~~~



## 〈ちょっとBREAK〉 パートII

### 日本が高いの？ 米国が安いのか？ 国会議員の報酬

アメリカの国会議員の報酬は、日本と比べて決して恵まれていません。連邦議員の年収は、1989年のある調査で8万9,500ドル。日本のようにボーナスはなく、党や派閥からの「モチ代」と称するものもありません。月収にすると約112万円（1ドル＝150円で換算）です。

いっぽう、日本の国会議員の報酬は月額109万1,000円。ボーナスが年間約518万円。その上に文書通信費、立法事務費で約140万円、2人の公設秘書も付きます。さらに、25年以上在職の議員には、月額25万円の特別交通費の支給もあります。その他、JR無料パスか航空クーポン券のどちらかを選択制で支給されたり、10年以上務めれば引退後は月最低で32万円の議員年金が支給されます。副収入を含めれば年収1億円以上はざらなのです。

アメリカ連邦議員には足かせがあります。講演料やコンサルタント料などの副収入の年間総額が、議員給与の30パーセントを超えると、慈善事業に寄付しなければなりません。ですから、よほどの使命感がないと連邦議員にはなれません。アメリカでは政治家は儲からないというのが通説のようです。

# 歯自慢の人、大集合

## — 60才以上の歯のコンクール —

平成5年4月17日(土)、熊本市黒髪3丁目のサンライフ熊本(熊本中高年齢労働者福祉センター)において、60才以上の方の「よい歯のコンクール」が開催されました。

このコンクールは、サンライフ熊本の「いきいき健康講座」の一環で去年に引き続き第2回になります。「8020運動」の推進イベントとして、熊本市歯科医師会、西保健所、北部保健センターの協力、またヤクルト株式会社、熊本漬物工業組合、牛乳普及協会、歯科材料商組合の後援で行われました。

市内各方面から去年より10名多い53名の方が集われた。

審査には伊東隆利先生、藤波好文先生、中村勇一先生、渡辺 研が担当し、集計は西保健所の白浜先生がパソコンで手際よく行われた。

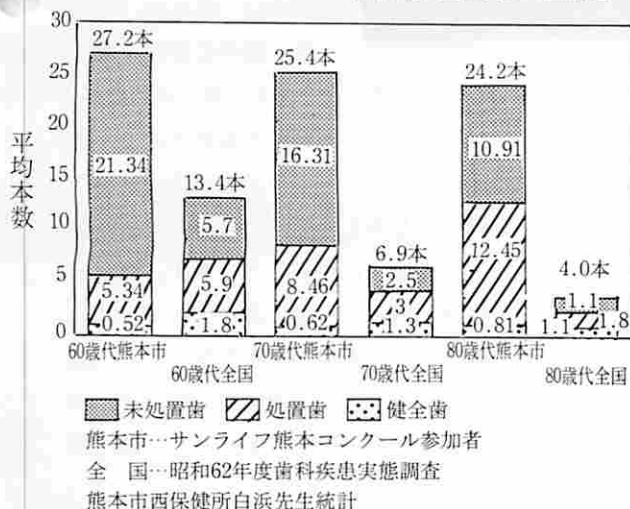
口腔粘膜、歯、歯周組織の状況を総合的に診

査し、特に健全歯数にポイントをおき審査した。平均本数は60才台が27.3本、70才台25.4本、80才台24本、90才台は2名ながらも22本と21本で、「8020」を越え、ペリオも概ね良好で治療、予防管理が良くなされていた。ご自身も歯に自信があるという方が多かった。

会場では、位相差顕微鏡によるモチベーションとプラークコントロール、歯科衛生士会による在宅医療の紹介などが行われ、皆さん興味深く説明を聞かれていた。

次に、伊東先生が講評と質疑応答を行い、表彰に移った。サンライフ熊本松山常務理事、市歯科医師会中根会長より、年代別に優秀者を表彰した。グランプリは、32本すべて健全歯の熊本市鹿子木町の桑原キミエさん(73才)が受賞した。

### 高齢者よい歯のコンクール'93



53名の参加者で、グランプリは32本すべて健全歯の桑原キミエさんが受賞

(渡辺 研)

## 広報委員会恒例

# 『家族キャンプ』 in 甲の瀬キャンプ村

(南小国町)

梅雨の真最中で、連日大雨が続き、予定通りにキャンプが出来るかどうか不安一杯だったが、7月3日(土)は奇跡的に雨が止み、GOサイン。現地に5時集合ということで、寺脇理事家族をはじめ7家族、総勢23名(大人13名、小人10名)の大キャンプのスタート。

### 〈キャンプの定番はカレー〉

今夜の夕食はカレー。男と子供達だけで作るということで、野菜切り係、米とぎ係、火おこし係に分かれて、さっそくその作業にかかる。

一番大変だったのは“火おこし”。なにしろ子供達は「おじちゃん、マッチでつけばいいじゃん!」と大きなマキに直接マッチの火をあてる始末……。連日の雨でしけている枯れ草を集め、持参の新聞紙を何枚も使って、20~30分かけてやっと着火。あとは適当に持参の肉と、ふぞろいに切ってある野菜をぶち込み、たきあがるのを待つ。

ご飯係は大釜で2升5合ぐらいたきあげたが、「どうも足りん!」との結論に達し、もう一つ釜を用意して、8合程たく。カレーは鍋2つで煮込み、水かげんが多いの少ないのと大変だったが、7時には全て出来上り「いただきマース」。「ウマイ!ウマイ!」「からい!からい!」と大さわぎしながら続々とおかわりで、またたく間に食べつくしてしまった。子供達にとって野外

での、多勢での食事はどんな高級レストランのよりおいしかったと思う。

### 〈キャンプファイアー〉

戸外で遊んでいると日の長いのが良くわかる。この日は8時近くまで広場で遊び、暗闇のおと

ずれと共に、いよいよキャンプファイアー。子供達には我々大人が数々の思い出作りの演出をしてやらなければならない。それもさり気なく……。

キャンプファイアーの必需品は、飲み物(酒)と歌。適当に歌詞を選んで

で人数分コピー、皆で炎を囲んで歌い始めたが、私の知っている好みの曲ばかり集めたので、子供達には不評。大人も「エライ古い歌ばかりナー」と今一。しかし、それにもめげず歌い続け、途中で子供達用に企画した「弁慶」の歌と踊りを子供達に教え、一緒に歌い、何度も踊っていると、子供達の表情が生き生きとして、瞳が輝いてくる。その後は花火大会。時の経つのも忘れて大人も子供も夢中、あつと言う間に消灯の10時となる。



### 〈早朝からヤマメ釣り〉

翌日の4日(日)は私1人5時起床、外を見るとまだ雨は降っておらず、チラチラと懐中電燈のあかり。?なんと、木村(洋)先生親子が網と懐中電燈を持ってカブト虫を搜しているとのこと、ア然、ポー然。いつもはまだ高イビキで寝ている人が……。

昨夜、奈良先生親子が私の「ヤマメ釣り」に同行するというので、5時半にたたき起こし、キャンプ場のすぐ横を流れる清流で釣り糸をたれる。この頃から雨。奈良父子に、我がヤマメ釣りの師匠・柿原訓先生直伝のヤマメ釣りのノウ・ハウを教え、さっそくミミズのエサで糸をたれると「ガツーン」という感じで15cm位のヤマメ。全然釣れないかも知れないと思っていただけに思わず顔がほころぶ。奈良父子は私の初体験の時と全く同じ様に枝に糸をかけ、流木に引っかけ悪戦苦闘しつつも、2匹釣れたと7～8cmの魚を持ってきたが「アブラメ」。ポイントを変え、しばらくして長男君がニコニコして私に見せに持って来たのは、まぎれもなくヤマメだったが、私に見せたとたん、石につまずき「放流！」してしまった。その瞬間の彼の残念無念の表情がとても印象的だった。その後もう1匹釣れたので一安心。宝物のようにキープしていた。私は9時までネバッて8～18cmを12匹。バーベキューで皆の胃袋へ納まる。

〈バーベキュー・すいか割り・輪投げ〉

外は大雨で、当日参加予定の永野先生家族は欠席。朝昼兼用のバーベキューを屋根付きの炊事場にて10時スタート。このすぐ横の芝生広場で雨の中“すいか割り”。目かくしして、1回転させ、竹の棒で5m先のすいかを割るわけだが、竹の棒の為、うまく当たってもなかなか割れず、2才～12才の10名の子供らは、ずぶぬれになりながらも、何度も何度も挑戦し続け、ついにはすいかもコナゴナにくずれ、「皆で手づかみで食

べてヨシ！」と号令を出すと、エサに群がるピラニアのように夢中で食べ始め、アッと言う間に皮だけ――。

バーベキューもワイワイやって食べるとおいしく、お腹一杯になったところで、賞品付の「輪投げ大会」。大人も子供も真剣勝負で大さわぎ。仕事中は時の経つのは遅いが、遊びとなると加速度をつけて時が過ぎる感じで12時30分。たくさんのおいしを残して解散。

(広報委員 奥田良樹)



## 〈ちょっとBREAK〉 パートⅢ

## 30万年に誤差1秒/ 時計の時間を決める時計

テレビの時報や117番の電話サービスで時計を合わせるの、日常なにげなくやっていることですが、この時報はいったい何を基準にしているのでしょうか。

あのおなじみの「ピッ、ピッ、ポーン」は、セシウム原子時計というものを基準にしているのです。「1秒は、セシウム133原子の一定の原子振動に要する時間とする」と国際協定で定義されたのが1967年のこと。じつに、30万年で誤差がわずか1秒という精度です。ちなみにセシウムというのは希アルカリ金属元素のひとつで、光をあてることによって電子を放出するので、光電池などにも使用されています。

「セシウム1次周波数標準器」というのが原子時計の正式な名称で、この機械の誕生によって、地球の自転速度が年々ほんのわずかではありますが、遅くなっていることが判明しました。これは、もうひとつの時間体系である世界時（地球の自転速度を基準として時間を定める）との間にズレを生じさせることになり、そのため現在の標準時は、原子時計が刻む時間に適宜1秒間の「<sup>うるつじ</sup>閏時を挿入して、それを協定世界時として採用しています。なお日本では、このセシウム原子時計は、東京都小金井市の郵政省通信総合研究所に設置されています。

またたく間に過ぎ去る1秒の重みを大切にしていきたいものです。

# 南部支部旅行

## 全員エキサイト、エキサイティングの麻雀大会！

今にも雨が、そんな感じの6月12日(日)小天温泉那古井館への支部旅行が行われました。

昨年は船釣り大会が計画されましたが雨で中止。今回は雨天決行ができる麻雀大会が企画され、参加者10名。少々寂しい気もしましたが5時半集合、各々温泉につかり、浴衣に着替え6時より谷川支部長の挨拶に始まり関先生の市歯会の現況報告に続き富田先生の乾杯にて宴ははじめた。宴も<sup>たけなわ</sup>闌の頃、大雨が降り出し、下山、村上両先生ら明日のゴルフ組はアーアーの表情。「もっと降れ」は関先生。何やらゴルフをしたくないらしい。ワイワイガヤガヤ飲むものも飲んだし、食うものも食ったころ、麻雀大会実行委員長蔵田先生（俺がルールブックだ!!）より競技内容、賞品等の詳しい説明があり、いよいよ麻雀大会へ移行する。

半荘50分間4回戦3万点持ちの3万点返し、下馬評によると富田先生本命、対抗に関先生か谷川先生、穴で私と予想された。A卓とB卓にくじ引きで別れ実行委員長の合図でスタートする。

接待委員長分山先生にはじめのうちは「ビール下さい」「水割りお願いします」「灰皿下さい」。そのうち「ボーイさん!!ビール!!」「水割り!!」

「お茶!!」など全員エキサイト。途中までトップ、笑いの止まらぬ谷川支部長。リーチという声の多かった関先生。終始ニコニコの下山先生、吉村先生。また振り込んだ村上先生。ヨース裏のれリーチ・ドラ6、大声の古川先生。どうも体調がよくない本命の富田先生。12時まで他の泊まり客のことも忘れ盛り上がり、興奮状態のなか結果発表となる。

優勝・私（柿原）、準優勝・古川先生、3位・関先生、本命富田先生は6位。ゴール前までトップだった谷川支部長は4位でした。

翌朝、目を擦りながら朝食をとり、反省会をして解散となる。大会委員長・接待委員長、御苦勞様でした。次回は分山先生を講師として迎え研究討論会を予定しております。



（南部支部 柿原 訓）

# 左足を痛めながら宇治道孝先生優勝

## 支部長対抗ボウリング大会

5月15日(出)3時、隔月に開かれている支部長会の親睦を図る為と、29日に行われた支部対抗ボウリング大会の前哨戦として、市内12支部の支部長と中根会長、古賀厚生担当理事を加えて、ボウリング大会が行われた。

中根会長は得意のゴルフのように行かず、溝掃除(ガター)専門。ボーリング部の坂元先生は絶不調、一方宇治先生は左足を痛めながらも、2ゲーム目にフォースとダブルがきて、なんと224点の超ハイゲーム。これには恐れ入りました。以下がその結果一。

(注 宇治、坂元先生はボーリング部なのでマインス30のハンディー)

| 順位 | 選手名   | 総得点 | G 1 | G 2 |       |
|----|-------|-----|-----|-----|-------|
| 1  | 宇治 道孝 | 371 | 177 | 224 | HD-30 |
| 2  | 奥田 良樹 | 344 | 154 | 190 |       |
| 3  | 古賀 明  | 325 | 158 | 167 |       |
| 4  | 成松 賢二 | 306 | 129 | 177 |       |
| 5  | 坂本 憲明 | 298 | 130 | 168 |       |
| 6  | 斉藤 朗  | 286 | 110 | 176 |       |
| 7  | 中川 順一 | 273 | 139 | 134 |       |

| 順位 | 選手名   | 総得点 | G 1 | G 2 |       |
|----|-------|-----|-----|-----|-------|
| 8  | 坂元 和彦 | 277 | 136 | 171 | HD-30 |
| 9  | 小田 和人 | 272 | 153 | 119 |       |
| 10 | 斉藤 健  | 263 | 132 | 131 |       |
| 11 | 田中 宏  | 229 | 102 | 127 |       |
| 12 | 谷川 貞男 | 211 | 117 | 94  |       |
| 13 | 緒方 孝則 | 195 | 91  | 104 |       |
| 14 | 中根 俊吾 | 128 | 50  | 78  |       |

(東部3支部長 奥田良樹)



### 〈ちょっとBREAK〉 パートIV

#### スタミナドリンクのビンの色は なぜ茶色?

飲み過ぎや二日酔いの朝に、何となく力の出ない昼に、もうひとガンプリの夜にと、つい手が伸びるスタミナドリンク。これ1本で気分はかなり違うし、とくに24時間戦っているビジネスマンにとって、なくてはならないエネルギー源となっているかもしれません。最近は種類も豊富で、いろいろな名前のものがありますが、よく見るとどれも茶色のビンに入っています。じつは、これには理由があるのです。



いわゆるスタミナドリンクには、医薬品として薬局にあるものと、清涼飲料水としてスーパーや駅などの売店にあるものの2種類ありますが、医薬品のものにはすべて茶色のビンが使われています。その理由は3つ。ひとつは紫外線遮断のためです。ドリンクのなかに含まれているビタミン類は紫外線から影響を受けやすいので、それを防ぐためにサングラスの役目をするビンが必要なのです。それには茶色が適しているということ。ふたつめの理由は検査の都合上です。検査は中身の無い状態とある状態と2度行われますが、光を下と横から当てて沈殿物の有無をチェックするので、ビンの色が黒などの濃い色や不透明だと検査には不向きです。そして最後は、イメージの問題。飲み物のビンが青や黄色では気分のよいものではなく、また、ドリンク剤の中身が黄色なので、茶色が一番適している色だということになります。ついですが、韓国でもスタミナドリンクには茶色のビンを使っています。

# 中根会長の還暦祝いと6月の移動理事会

社団法人熊本市歯科医師会の中根会長が本年還暦を迎えられ、6月26日(土)、27日(日)1泊2日の日程で鹿児島県の霧島山上ホテル(桜林山荘)でそのお祝いと理事会が挙行されました。

ゴルフ組8名(中根会長、鈴木副会長、本田、古賀、寺脇、赤城理事、宇都宮、山室監事)は、26日鹿児島空港カントリークラブを12時から2組の予約の為、8時30分に熊本インター入口に集合。丁度、梅雨前線の活動で特に九州南部、鹿児島地方は雷を伴う強い雨の注意報が出ていましたが、出発時、熊本は曇りで4台のマイカーに分散して天候を気にしながら一路鹿児島へ向け南下しました。途中人吉を過ぎループ橋あたりから霧も深くなり、雨も降り出し、対向車はライトをつけて来るようになり、これではゴルフが出来るのかと心配しながら、10時40分頃ゴルフ場に到着しました。スタート迄約1時間20分ばかりありましたので、軽い昼食を取りながら「賞金、馬、にぎり」など雑談を交わしている内に一時ひどい雨が降って来ましたが、我々日頃の行いが良い為、スタート直前に雨はすっかり上がり、今回はカートに乗って18ホール中休みもなくスイスイと廻る事が出来ました。ただ高麗グリーンで梅雨時の為、傾斜の強い所にホールが切っており、全員がパットに苦しんだ様子で、私も7回ものスリーパットをしましたが、ダブルペリヤ方式の為、前回の移動理事会の続き、今回も又、優勝して私(山室)がこの原稿を書くことになってしまいました。鈴木副会長はゴルフは2年ぶりとかで御苦労様でした。スコアは別記の通りです。

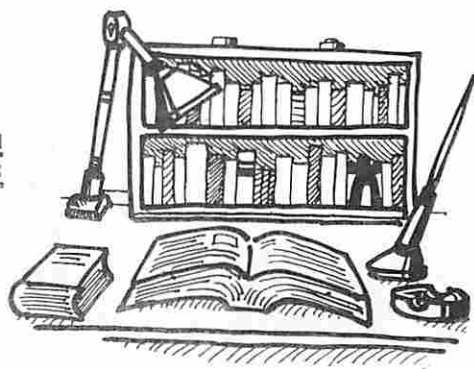
ゴルフ場から霧島山上ホテル迄約40分。5時30分頃ホテルに到着。ゴルフ組以外(関専務、杉野常務、伊東、矢毛石、岡田理事)はすでに到着。私達も早々に温泉につかり、7時から菅

原先生の司会で祝宴が始まり、鈴木先生の挨拶、中根先生の謝辞、杉野先生より記念品の贈呈そして私の乾杯。ゴルフの後、温泉にひたつてのビール一杯の美味しいこと。そして60才とは思えぬ中根先生の元気さと酒の呑みっぷり、お座敷でのお色気談義、伊達に年をとられたのではないことをつくづく感じさせられる思いがしました。最後に関先生の閉会の辞で祝宴は終り、2次会がホテルの中のクラブでいつもの様に歌ったり踊ったり、12時頃迄あつという間に楽しい時間は過ぎてしまいました。それから又部屋に帰り、一部屋に集まり3次会。飲みながら最近の歯科界の話題にふれたり、さながら深夜の理事会のようでしたが、2時頃やっとな各自の部屋に分散しました。明けて27日は朝から梅雨時とは思えないように晴れわたり、霧島国立公園の大自然と遠くに桜島を一望することが出来、朝風呂をあびて、9時から次第にそって理事会。11時にホテルを出発。中根先生の還暦の為、近くの霧島神宮に参拝しましたが、樹齢7、8百年ぐらいあると思われる護神木に守られた真に立派な神宮でした。帰りは途中ドライブインで昼食を取り、そこで解散。帰路につきましたが、楽しい意義深い2日間の旅でした。

(山室紀雄)

|   |    | OUT | IN | TOTAL | H.C  | NET  |
|---|----|-----|----|-------|------|------|
| 山 | 室  | 46  | 47 | 93    | 19.2 | 73.8 |
| 本 | 田  | 47  | 51 | 98    | 24.0 | 74.0 |
| 中 | 根  | 52  | 45 | 97    | 21.6 | 75.4 |
| 古 | 賀  | 44  | 47 | 91    | 14.4 | 76.6 |
| 宇 | 都宮 | 54  | 52 | 106   | 28.8 | 77.2 |
| 寺 | 脇  | 49  | 51 | 100   | 20.4 | 79.6 |
| 赤 | 城  | 54  | 56 | 110   | 28.8 | 82.2 |
| 鈴 | 木  | 52  | 59 | 111   | 27.6 | 83.4 |

# 勉強部屋



## 補綴前処置としての歯周環境改善

(衛生士サイドとしての対応について)

市学術委員 川 嵯 俊 輝

### 〈補綴処置の中での衛生士の大きな役割〉

歯周補綴に限らず補綴処置を行う際には、歯牙とともに歯周組織の健康な状態が得られているということが必要となってくる。これを欠くことによって、その予後は不良となる確率が高くなっていく。この事は、現在の大半の私たち開業医で行われる補綴処置の中で歯科衛生士の役割が大きなウエイトを占めると言えるであろう。具体的には、歯肉、及び歯冠・歯根面の管理が挙げられる。



図1 正常な歯周組織

これから行おうとする処置の目標が、明確となってくる。

図1は、正常な歯周組織の状態を示したものであるが、治療に先立ってはこのような正常像を常にイメージしておくことで、



図2 歯周炎を呈したもの

を行うこととなる。

図2は、歯肉炎を示したもので、この場合は原則的に付着の喪失は伴わないため、ブラッシング、スケーリングによる対応



図3

図3は、25歳男性の患者さんの初診時の口腔内で、清掃状態は不良で前歯部の辺縁歯肉・歯間乳頭部に著明な炎症が認められた。



図4

図4は、初診より3ヶ月後の状態で、辺縁歯肉には未だ炎症が見られるが、かなり改善されてきている。この間の処置としては、ブ

ラッシング指導とスケーリングにて対応した。



図5

示したもので、炎症の波及によりセメント質は汚染され歯槽骨の破壊・吸収が始まっている。



図6 初診時

図6は、49歳女性の初診時の状態で、ブラッシングによる出血を怖がっていたために口腔内の清掃状態は非常に悪く、歯頸部より歯間空隙には多量のプラークの付着を認め、歯肉には浮腫性の主張が認められた。この時点でのプロービング値は全顎的に4～7mm、PCRは100%であった。これよりバス法にてブラッシング指導を開始。



図7 1ヵ月後

約1ヶ月後にはブラークコントロールもかなり改善されており、PCR値は40%、プロービングでは1～2mmの減少を示した。これよりキュレッタージュを行うとともに歯間ブラシの使用を開始した。(図7)



図8 3ヵ月後

初診より3ヶ月後、一応キュレットを終了した頃になると患者さんの治療に対する積極性が現れ、PCRは10%以下となりプロービングでは臼歯部根分岐部を除き3mm以下となった。初診時に見られた歯肉の全体的な浮腫性の腫脹は消退し、外見上は引き締まった健康に近い状

図5は、歯周炎つまり炎症が歯肉を越えて歯根膜、歯槽骨、セメント質にまで及んだ状態を

態になってきているが、その結果、歯根露出や歯間空狭の開大、歯肉のラインの不揃いが目立つようになってきた。これは、内部環境としての歯槽骨の形態が歯肉に現れてきているので、これより先はドクターサイドでの対応となる。(図8)

### 〈ドクターサイドでの対応〉



図9



図10



図11

詳細については今回は省略するが、処置として、歯列矯正・歯周外科、GTR等が挙げられる。簡単な一例を挙げると、図9、10、11は初診時より初期治療を終了したところ、左上1、2間に歯間乳頭部の陥凹した形態を認めた。この状態では発音や審美性に問題があるため、MTM(歯牙挺出)により歯槽骨レベルの調整後、最終補綴を行った。

### 〈プロビジョナル・レストレーションの調整〉

#### ケース1

さて、大体の処置が終了した段階で最終補綴へと移行するわけであるが、ここで大切なこととしてプロビジョナル・レストレーションの調整が挙げられる。処置を行った歯肉をより成熟し予後を確かなものとするためには欠かせないステップとなる。プロビジョナル・レストレーションは最終補綴物を反映した形態を持つこと

が必要とされるが、患者さんがメインテナンスし易い形態の決定やマージンの調整など、衛生士サイドで行われることも多々ある。特にマージンのフィットには細心の注意を払う必要があり、このステップをおろそかにすると、その後の印象で失敗を招くこととなる。図12、13は最終形成後のリマージネーション前後を比較したところ。



図12

図13

## ケース 2



図14

図15



図16

図17

図14、15、16、17は右1に装着された補綴物の審美性を主訴としたケースであるが、辺縁歯肉の炎症とポーセレンの色調の不調和を認めた。補綴物の除去を行ったところ、マージン部のオーバーカントアールと、支歯隣接部の形成が深いため、生物学的幅径が欠如した状態であった。ここでプロビジョナル・レストレーションを調整・装着し歯肉の反応を観察しながら、患者さんのこれに対する満足度を考慮にいった。

## 〈コ・デンタルスタッフの重要性〉

このようなステップをふまえることによって

予後の見通しのたつ処置が可能となるが、そこには、衛生士サイドにおける処置が大きなウェイトを占めており歯科医院におけるコ・デンタルスタッフの重要性が示唆される。歯科医師・歯科技工士はもとより、歯科衛生士それぞれが、自己の技術・洞察力の向上に努め、役割分担された仕事に完璧を目指すことが、医院のレベルを高めるとともに、複雑化した現在の歯科医療において我々歯科医療従事者にかかるストレスを軽減し、ひいては医院の合理化につながると言えるのではないだろうか。



## 震度とマグニチュードの違いは？

地震列島といわれるほど、日本では地震が頻発しています。テレビやラジオなどの報道で、「震度」と「マグニチュード」という言葉がよく使われますが、



これは同じものではありません。震度とは、地震による揺れの強弱、マグニチュードは地震そのものの大きさを示しています。たとえば大正12年の関東大震災はマグニチュード7.9、震度は中心部で6、その周囲にいくに従って5、4、3と弱くなります。マグニチュードは地震計の針の揺れ幅をもとに、震源の深さや震源距離などを含めて計算によって求められます。震度の場合、ちょっと意外ですが計測する機械はありません。気象庁の観測官が体で感じた揺れを、「震度階級表」に基づいて決め、発表しているのです。ですから、発表された震度の割に揺れが大きいとか小さいとか、人や場所によって感じ方が違うのです。

ちなみに「震度階級表」は8段階に分かれていて、0から順に無感、微震、軽震、弱震、中震、強震、烈震、激震と呼びます。関東大震災は震度6の烈震で、烈震は、「家屋の倒壊は30%以下で、山崩れが起き、地割れを生じ、多くの人が立ってられない」くらいの地震を指します。

# 『テキサス大学サンアントニオ校での 短期留学を終えて』

伊 東 隆 利

熊本市ではふるさと創生基金を基に熊本市制100周年記念事業として人づくり  
基金をつくり、地域活動、国際交流など市民の運動に補助をしております。

〈4月22日1ヵ月の予定でテキサス大学歯学部留学〉

私は昨年中根俊吾熊本市歯科医師会会長のご推薦により応募し、平成4年度後期分の交付を受けることになり、熊本市と姉妹都市であるサンアントニオ市において1ヵ月間、テキサス大学医学部で学ぶ機会を得ました。仕事や家族のことが気になりながらも、私と西村賢二、和久田哲生先生（伊東歯科勤務）の3人で4月22日意気揚々と出かけました。



サンアントニオ市議会場で名誉市民の授与式  
（中央がネルソンウルフ市長）



親日家のストーリー先生の教室にて  
（日本人形が飾ってある）

1989年に同大学のストーリー先生（矯正）、ルー先生（口腔外科）が来熊されていたこと、1991年に私も一度訪れた経験もあり、大学全体として快く受け入れていただきました。到着するなり、渉外担当副学長の先生より別紙のようなびっしりつまったスケジュール表（表1）をいただいてびっくりいたしました。またサンアントニオ市役所では、ネルソンウルフ市長より名誉市民の称号をいただき感激いたしました。スケ

スケジュール表

| 日 | 1993年 4月 25                                                                                                                                                 | 1993年 5月 2                                                                                                                                                            | 9                                                                                                                      | 16                                                                                                                                                          |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 月 | 9:00-10:00 am. 26<br>学術担当副学長<br>Dr. W. Kuebker<br>10:00-12:00<br>シフト教育プログラム<br>Dr. Fred Bell<br>2:30-3:30 pm.<br>卒後研修担当副学長<br>Dr. K. Rudd                   | 9:00-10:00 am. 3<br>総合歯科学 教授<br>Dr. J. Berrong<br>10:00-11:30<br>有病者歯科見学<br>Dr. B. Robbins<br>1:00-3:00 pm.<br>外科的歯内療法講義<br>Dr. Carlos Del Rio                        | 2:00-3:00 教授<br>Dr. Brunsvoid                                                                                          | 8:15-12:00 17<br>口腔外科開業医<br>見学 Dr. Johnson<br>& Dr. Buckley<br>1:30-2:30 pm. 市<br>歯科医師会会長訪問<br>Dr. Sadowsky<br>4:00- 口腔外科医<br>Dr. Thornton訪問                |
| 火 | 7:30-12:00 am. 27<br>口腔外科手術見学<br>Dr. Tinner<br>12:00-1:00 pm.<br>口腔外科<br>ケルビン・ジョンソン<br>2:15-3:00<br>歯科修復学<br>Dr. T. Berry<br>7:00-9:00 pm. 市歯科<br>医師会学術会合出席 | 9:00-11:00 am. 4<br>歯学部院内案内<br>Dr. Billy Higginsby<br>Dr. Bill Dodge<br>1:00-4:30 pm.<br>総合歯科診療科見学<br>Dr. Bill Robbins<br>6:00-<br>口腔外科医会へ出席<br>ハリス大学、空軍病院<br>陸軍病院 合同 | 10:00-11:00 am. 11<br>予防歯科 主任教授<br>Dr. J. Brown<br>移動診療車見学<br>1:30-2:30 pm.<br>口腔外科 主任教授<br>Dr. Tilton                 | 8:15- 診断学 18<br>Dr. Steve Matteson<br>9:00- Dr. Baker<br>10:45-<br>Dr. Nummikoski<br>11:15-<br>Dr. Langlais<br>1:00-<br>マサチューセッツ州<br>見学 歯科担当<br>Dr. Saldana |
| 水 | 8:00-12:00 am. 28<br>口腔外科手術見学<br>Dr. John Jones<br>12:00-1:00 pm.<br>口腔外科<br>ケルビン・ジョンソン<br>3:00-4:00<br>Dr. K. Kalkwarf<br>歯学部長                             | 7:00-12:00 am. 5<br>Specific Patient<br>Care Unit 見学<br>医学部院内歯科見学<br>Dr. Montgomery<br>3:00- 矯正学教授<br>Dr. Storey<br>5:00-<br>口腔外科術前検討会                                | 8:00-3:00 12<br>小児歯科 主任教授<br>Dr. H. Thomas<br>レディ・マック<br>Dr. Henry<br>5:00- 市役所見学<br>Dr. Storey<br>5:00-<br>口腔外科術前検討会  | 8:15-9:00 19<br>歯学部学 主任教授<br>Dr. Cochran                                                                                                                    |
| 木 | 8:00-12:00 am. 29<br>口腔外科手術見学<br>Dr. Van Sickle<br>12:00-1:00 pm.<br>口腔外科<br>ケルビン・ジョンソン<br>3:00-4:00<br>補綴学 主任教授<br>Dr. D. Kaiser                           | ハリス州歯科医師会<br>年次大会                                                                                                                                                     | 8:00-10:00 13<br>口腔外科手術見学<br>Dr. Van Sickle<br>11:00-<br>マサチューセッツ州<br>市役所訪問<br>Nelson Wolff市長<br>と面会                   | 20                                                                                                                                                          |
| 金 | 7:00- 30<br>口腔外科手術見学<br>Dr. Van Sickle<br>12:00-1:00 pm.<br>口腔外科<br>ケルビン・ジョンソン<br>1:30-5:00<br>歯学部治癒室見学                                                     | ハリス州歯科医師会<br>年次大会                                                                                                                                                     | 8:00-12:00 am. 14<br>口腔外科手術見学<br>Dr. Van Sickle &<br>Dr. Tinner<br>1:00-4:00 pm.<br>講義 矯正学 教授<br>Dr. Biggerstaff<br>面会 | 補 国 21                                                                                                                                                      |
| 土 | 1993年 5月 1                                                                                                                                                  | ハリス州歯科医師会<br>開業医見学ツアー                                                                                                                                                 | 8:00-1:00 15<br>Alamo Dome オープン<br>セッションへ出席                                                                            | 22                                                                                                                                                          |

着くなり手渡されたスケジュール表（表1）

事業実績報告書

1. 研修実施状況 (日程表は別紙)

① 大学関係

- (1) 大学長、3名の副学長、8名の主任教授と、45分～90分面会し学部教育、病院実習、卒業研修、生涯研修の4つについて説明を受けた。
- (2) 大学長、教授、助教授について、特殊患者(肝炎、エイズなど)の治療について説明を受けた。  
Specific Patient Care Unit、および医学部付属病院にて治療を見学した。
- (3) 学長聴講の前で、伊東歯科における下顎骨再建手術、顎関節症例についての症例報告を行った。
- (4) 大学長、大学長の下顎骨再建手術および歯牙の小移動についての講義を聴講した。
- (5) 大学長、大学長、大学長の下顎骨再建手術および歯牙の小移動についての講義を聴講した。
- (6) 口腔外科科長において、顎変形症に対する医療の近未来についての比較について、研究討議した。
- (7) 大学長より大学長のCertificateをいただいた。

② 歯科医師会関係

- (1) 大学長より大学長の学術集に出席

③ 市役所関係

- (1) 大学長より大学長の称号を与えられ、大変な光栄に浴した。

以上

熊本市子嗣本町3-14  
伊東隆利

熊本市役所に提出した報告書(表2)

ジュエル表と帰国後市役所宛てに提出した報告書を別紙に示し報告の一部とさせていただきます(表2)。

〈思いがけない4つの体験〉

さて今回の企画はいくつかのよい偶然が重なって、思いがけない体験をすることができました。

その1つは、テキサス大学歯学部が全米55歯科大学中総合評価で1にランキングされた旨が3月に発表されており、4月に私達が訪問した時はその喜びに包まれて、会う人ごとに1のバッジやTシャツを示され、つくづくいい時に訪れたものだったことでした。同大学のすぐれた生涯研修セミナーを、日本の先生方にも開放するとの約束を受けました。

その1つは、4月23日までがフィエスタというサンアントニオ市の一番大きな祭で、最終日の23日、何と熊本在住のチャーリー永谷さんが全米でも人気歌手のダンハーリーのグループでゲスト出演され、以前から面識があることもあり、楽屋裏での交流も出来たことでした。

その1つは、アメリカのスポーツ界で活躍中のプロバスケットチーム、サンアントニオ市のチアーズの試合を4月28日に見ることが出来たことでした。姉妹都市熊本から来た切符売場で言ったら、いい席に廻してもらい、すぐ近くで観戦することが出来ました。これも Sister Cityのおかげでした。

その1つは、5月15日72,000人収容の巨大なアラモドームが完成し、名誉市民の私達にも招待状が舞い込みVIP扱いで出席できたことでした。前市長のヘンリーシスネロス長官(現クリントン政権の住宅大臣)とお会いし話すことが出来ました。昨年、私のところにホームステイしていたサンアントニオ市のボニーブランドイスキがシスネロスさんのお嬢さんとクラスメートだということで、広いようで狭くなった地球を感じたものでした。当日は前夜までクリントン大統領が来られるかもしれないと噂が流れていましたがシスネロス長官が代表で挨拶をされていました。



サンアントニオ市歯科医師会会長  
シャドースキー先生

その1つは、テキサス州歯科医師会の年次大会が今年はサンアントニオ市中央のコンベンシ

ョンホールで開催され、3,000人の歯科医師が集まり、学術講演、デンタルショー、レジャーなど盛り沢山の企画があり、私達も大学の計らいで、Special Guest として招待されたことでした。テキサス州歯科医師会長ピアス先生、サンアントニオ市歯科医師会長シャドースキー先生とお会いでき中根俊吾会長からの親書を手渡しし、数々の企画にも出席し、アメリカの開業医の姿に接することが出来ました。シャドースキー先生は、この5月で会長を辞められるとのことでしたが、私が預かって行った中根会長の手紙と私達の訪問を会誌に掲載する旨約束されました。私もシャドースキー先生との会見を私達の会誌に掲載する旨約束いたしましたので、早

速この会誌が出来上がり次第、サンアントニオへ送付したいと思っています。

本当に数々の Good Timing が重なって普通では体験できないことを短期間に体験し、交流を持つことが出来ました。

#### 〈今回の企画、留学を終えて〉

今回の企画が無事に終了し、実り多き成果が得られましたことを、田尻靖幹熊本市長に厚く感謝し、いろいろな便宜、連絡をいただきました熊本役所企画室、秘書課、国際交流室の方々に、そしてまた1ヵ月の間、留守を守っていただいたスタッフや家族に感謝を申し上げて報告を終わります。



~~~~~



〈ちょっと BREAK〉 パートVI

スポーツ界の究極の大逆転とは？

スポーツの醍醐味は、逆転サヨナラホームランのような劇的な大逆転にあります。先ごろ亡くなった相撲の春日野理事長、かつての横綱栃錦は、平幕のときに変わった大逆転をしています。前半戦の取り組で7連敗してしまったのですが、何と後半で8連勝して勝ち越しました。とくに千秋楽では、2度にわたる取り直しの末に、ヨタヨタになりながら勝ったといえます。

また、オリンピックでの歴史的な大逆転は、1972年のミュンヘン大会男子バスケットボール決勝、アメリカ対ソ連。アメリカはそれまでオリンピック通算63連勝を続けていましたが、この試合は苦戦。しかし、残り3秒というところで逆転、金メダル、かと思いました。ところがソ連が「試合終

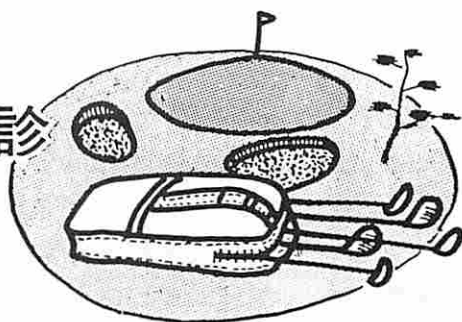
了が早かった」と抗議。それが認められて、また残り3秒というところから試合再開。ソ連がやけっぱちでロングシュートをしたところ、それがスッポリ。今度こそほんとうの試合終了で、50対51でソ連が金メダル獲得となりました。アメリカは銀メダルの受け取りを拒否して抗議しましたが、後の祭りでした。

もっとすごい大逆転がオリンピック史上にあります。1932年のロサンゼルス大会。陸上の女子100メートル決勝で、ポーランドのステラという選手が金メダルを獲得。ところが81年になって、このステラさんが亡くなった後で、金メダルの名誉は剥奪されてしまったのです。なぜなら、死んでから彼女、いやステラは男だったと判明したからです。これぞ究極の大逆転!?

そういえばソウル大会でも男子陸上の100メートルで、これに似たような逆転劇もありましたが、大逆転は試合のなかでのことにしてほしいものです。



本日休診



ジャズをこよなく愛して

小島博文

〈ジャズの音色に引かれ続けて〉

突然ですが私はジャズをこよなく愛しております。ジャズというと暗いイメージを抱かれる方も多いのではないのでしょうか。もともとアメリカの黒人音楽にそのルーツを持つジャズは、様々な人種差別の問題を抜きにしては語れません。中には差別への怒りをストレートに爆発させるような演奏スタイルで有名な人達もいます。こういう人々の演奏は応々にして暗く重々しいものになってしまう傾向があります。しかし私が好んで聴くのは、こういった人種問題から派生する怒り、悲しみ、孤独、絶望といったものを自分の中で昇華させながら自らの道を歩んでいるような人々のジャズであります。例えばソニー・ロリンズというサクソ奏者がいます。もうかなり長い間ジャズの第一線で活躍している大物ですが、彼の演奏は底抜けに明るく、聴く者に何の憂いも感じさせません。だからといって決して軽薄なものではなく、むしろその音色は重厚で迫力のあるものです。おそらく心の内の様々な葛藤を克服しながら生き

てゆく過程で形成された彼の人格がこの音色を生み出しているのだと思います。一流のプレイヤーはもちろんのこと、無名であっても聴く人を感動させる程の者は必ず自分の音色というものを持っております。人々はこの音色に引かれ、ジャズを聞き続けるのです。私も長い間この音色を聞き続け今年37才になります。

〈人の人生にも音色がある〉

最近になって思うのですが音色というものは何も楽器だけが奏でるものではなく、人の人生そのものにも音色があるのではないかと（実はこれは富岡先生の受け売りなのですが）。考えてみれば私がこれまでに出会ったたくさんの人の方々が御自分の「人生の音色」を持っておられたように思います。

〈強烈な音色の思い出〉

ここで一見何の変哲もない平凡な人から強烈な音色を聞かされた忘れ得ない思い出を一つ。それは私が学生実習の時の話です。口外の実習はまず問診をとることから始まります。ただでさえ口外というのは他の科と雰囲気がちがい緊



張するのに、こまごました問診をとるのは始めて一段と緊張します。この問診の項目の中に「初潮はいくつの時でしたか」というのがありました。我々男性はそれまでほとんどこの言葉を発音した経験がなくおまけに緊張しているものですから始めのうちはまともに発音できない者もいます。「ショショショ」などと口ごもるとよけいにあせってしまい「しょしょしょちよーはいいいつうーすか」などとまともな日本語にならないやつまで出てくるしまつでした。しかし本人達は大まじめで一体だれがこれを笑うことができましょうか。

さて、ちょっと気の弱いB君緊張の面持ちで待機しておりますと、60才代と思える和服をきちっと着こなした上品な御婦人がやってまいりました。自分のおばあちゃんと言ってもおかしくないこの御婦人を相手に緊張しきったB君何とか無難に質問を進めてゆき、いよいよ問題の箇所にくると案の定やってしまいました。「しょしょしょちよーはいいいつうーすか」。しばらく沈黙があった後この御婦人はずかしそうにうつ向きながらしかしはっきりとした声で「18才の時今の主人が初めてでした」。訳がわからずぼかんとしているB君。それでも気を取り直し、今度はやや余裕を持って「本日はどこかお痛みでしょうか」。再び沈黙があった後この御婦人「はい、初めてでしたから痛かったです」。再びぼかんとしているB君を残し、こらえきれなくなった連中が一人また一人と控え室へ消えていった事は言うまでもありません。

当時笑い話だったこの事件も、時を経た今思い返すと、自分の孫のような男から不躰な質問をされた（と当人は思い込んでいたでしょう）にもかかわらず、はじらいながらもしかし毅然とした態度で応答するさまからは、戦前戦後生き抜いた控えめで尚かつ芯の強い典型的な日本女性の人生の音色を聞かせてもらったように

思います。

〈軟らかくなった自分の治療の手〉

ついでにもう一つ。これも話はポリクリの時に逆のぼります。補綴のKr.で30数年女手一つで小さなラーメン屋をやってきたというこの女性、気も強いが口も悪い。義歯の難症例だったのですが、印象を採り直そうものなら「やっぱ大学病院はやることのちがうねー」などといやみの一つも言わなければ気のすまない人で、途中何回かけんかもしたくらいでした。ところが最後の診療の時に、なんと驚いたことに、「どうもお世話になりました」と言ってくれて私に現金を3万円渡してくれたのです。正直言って彼女にとって3万円というのは決して少ない額ではなかったと思います。その後私は補綴科に残り、3年目に義歯破折で再来院した彼女と再会しました。その頃は私も学生時代よりは少し自信もついてきた頃で、無難に義歯を作ってあげました。そしてこれも又最後の診療の時に言われた事が今でも忘れられません。「前に先生に診てもらった時には先生の手は固くごつごつしとったけど、今度診てもらった時は先生の手は軟らかかったー」

この女性からも30数年女一人で生き抜いたたたかなそれでいて繊細な人生の音色を聞かせてもらうことができました。

〈まだ聞こえない自分の音色〉

さて紙面も尽きようとしておりますが、40才を前にして自分はどうかと申しますと、残念ながら私だけの音色なるものまだ聞こえてまいりません。これを搜して暗中摸索、右往左往する日であります。これをお読みの諸先生方、機会がありましたらぜひ一度酒の席でも、先生の人生をそしてその音色をお聞かせ下さい。

一枚

の 写 真



藤波 好文先生

熊本市室園町3-35
写真に関する思い出
日本は三井物産が
中心となり、イラン
の豊かな天然ガス、
石油を資源として、
最新鋭石油化学コン

プレックスの建設をしようと日本・イラン共同
事業の IJPC プロジェクトの診療所に派遣された
時—昭和53年1月～5月—の写真です。イラン
南部ペルシャ沿岸の砂漠のバンダルシャープル



に工場は建設されていましたが、イラン革命、
イラン・イラク戦争で約80%完成した壮大な計
画も5年で中止になり、私としても残念です。
53年は軌道にのったときは、日本人約2000人（全
体7000人）にのぼり、診療所は鹿児島大医学部
より内科・外科・歯科が派遣され、歯髄炎や Perico
の処置、簡単な充填で、骨折などの手術はなく
すみました。水が悪く、重症の下痢患者が多か
ったようです。診療所も宿舎もプレハブでした。
パハラヴィ国王や福田首相の現地視察もあり、
順調に工事は進んでいたと思っていましたが、
既に反国王デモも起こり、翌年に中止になりま
した。イランの変化をみると、民俗・国家・宗
教・地域問題の噴出、散乱の今がわかるような
気がします。思い出は、雪のテヘラン到着から

50℃を越えた帰国時の温度の較差、羊料理の中
でのインスタントラーメンの美味しかったこと。
エジプト・ギリシャ・クウェートやイラン国内
旅行で予約した宿舎や車がなかったのも度々で
した。最後に妻とフランス・スイス・オランダ
を観光して帰国したのもよい思い出です。

近況報告

白髪・酒が弱くなったこと、老眼が始まった
のですが、仕事内容は充実してきたかなと思い
ながら頑張っております。

近頃、感じたりすること

医療の社会性、経済性や技術・学術の向上と
とも、相手の心もわかりながらと思いますが、
益々厳しく、余暇がないのが残念です。喜んで
子供へも勧められる仕事にしたい。



弥永 康博先生

熊本市本山3丁目1-3
写真に関する思い出
写真は気功を始め
て3ヶ月、気のドー
ルを感じる様になっ
た頃の練功中のもの
です。人生の折り返

し点である40歳を過ぎるまで、食べて、寝る事
でストレスを解消してきました。結果、糖尿病
と診断され、主治医より食事のコントロールと
適度の運動を指示されました。そこで、何か運

動をと幾つかのスポーツクラブに通っていましたが、今一つ体に馴染めずやめました。その点気功（軟功）は、体の弱い人、体の強い人、病人等により練功の方法、時間を変更することが出来ます。自分にとって気持ちの良い事自体が気功法というので、これなら続けられると思いい道場に通っています。お陰様で、先月の血糖値は食後2時間で156 ml / dl まで下がりました。毎日の生活に気功を取り入れていく事で、薬を服用することなく糖尿病と付き合えそうです。



近頃、感じたりすること

バブル経済崩壊後、地価・株価の下落により資産格差是正・1億総財テク化による勤労意欲低下の是正・人手不足解消と、特に医業は不況に強いという事で、より良い人材が集まりやすくなった。平成不況は私にとってあながち悪い事ばかりではありませんでした。

しかし、長期的には、若年者の減少により、人手不足は明白です。又歯科界ではつい最近、日歯の委託を受けた野村総研のシュミレーションで、20年後には一歯科医院当たりの収支差額は、現在より40%減少することとの事。老後に一抹の不安を感じます。



三隅 裕邦先生

熊本市新町1-10-31

写真に関する思い出

81年7月、外洋ヨットで東シナ海横断ヨットレースを行う中国親善訪問団に参加した時のスナップ

です。写真①は上海入港前の各艇、写真②は上海シーメンズクラブ前で（中央筆者）。

若い頃友人にめぐまれていろいろと遊びをやりましたが気さくな友とのこの訪中が一番の思い出となっています。

近況報告

この数年体調が悪くハードな事が出来なっています。今はヤマメ釣り、山菜採り、山野草観賞とまるで定年退職後の遊びを妻と楽しんでいます。

近頃、感じたりすること

身近な自然が行政による整備の名のもとにゴルフ場の様な（芝張りの）公園になったり、生物の住めないコンクリートの三面張り川に変わったりしています。いじりすぎでないかと心配しています。

写真①



写真②



ひ

り

と

と

ご



最近出会った言葉と文章から

～患者さん、スタッフとうまく付き合う為に～

池 上 富 雄

日々の忙しい診療の中で、私達にとって最も関心があるにもかかわらず、最も難しい事の一つが、患者さん及びスタッフといかにうまく付

き合っていくかという事であろう。

まず次の一文をじっくり味わって読んでみて頂きたい。

職業奉仕四つの反省

I 顧客に対して：

最上の品質、最高のサービスを提供しているか。

常に正直と親切を旨としているか。

II 従業員に対して：

彼等の長所を十分に認め、かつそれを買っているか。

安全で快適な職場を確保しているか。苦情に対して公平に処理しているか。

自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか。

III 競争者に対して：

公正な態度で接しているか。行動を以て誠実を感銘させているか。彼等とともに事業の水準を高める努力をしているか。

IV 協業者に対して：

公平で且つ友情に満ちた関係を保っているか。

いつも支払をよくしているか。

この一文は、知人から頂いたもので、出典は明らかではないが、妙に心に訴えるものがあつたので、捨てずに額に入れて院長室の自分が座る椅子の正面に掛けておく事にした。時々読み返しては自分とのあまりの隔たりを反省しているのだが、全てにイエスと自信を持って答える事などはとても出来ない相談である。

最初の項目の正直、親切という事だけとって

も、患者さんから治療の相談を受けた時、果たして本当に相手の立場にたつて、相手の利益だけを考えて相談を受け、アドバイスをしているのかと自問してみると、はなはだ心もとない気がする。

開業当時の苦しかった頃に、相手の立場より、自分の立場を優先させて、何も知らない患者にそれほど必要でない治療を勧めた事も幾度かあ

った様な気がする。

正直と言えば、最近出会った中満重明氏の次の文章には、本当に心を動かされ、胸がつまる思いがした。

正直という徳目を見直せ

文芸春秋社のベスト・エッセイ集は私の愛読書だが、その91年版に、元NHK特別主幹吉田直哉氏の「ネパールのビール」という一文がある。同氏が6年前に撮影の仕事でネパールに行った時のことで、あるタ方スタッフはビールが欲しくなったが、ビールを持ってきていなかった。ところが居合せた村の少年チュトリが「僕が買ってきてあげる」といって、大人の脚でも1時間半はかかる峠の茶屋まで行って、5本のビールを背負って帰ってきた。一同拍手。

翌日今度は少年の方から「今日はビールは要らないか」と訊く。スタッフは喜んでビール1ダースぶん以上の金を渡す。少年は張りきって飛び出す。しかし夜になっても少年は帰らない。翌日になっても帰らない。村人に尋ねると「大金をやったのだったら逃げたのだ」と言う。学校の先生までが逃げたのだろうと言う。

ネパールの子供にとって信じられないような大金を渡したことを、吉田氏は歯ざしりするほど後悔した。

だが3日目の深夜、少年はビールを背負って帰ってきた。前回の峠の茶屋には3本しかなかったのを山を三つも四つも越えた別の峠まで行ったのだという。合計10本のビールを買ったが、転んで3本割ってしまった。ベソをかきながらその破片を全部出してみせ、釣銭を返した。少年の肩を抱いて、吉田氏は泣いた。近頃こんなに泣いたことはないというのである。(後略)

これを読んで私も泣いた。自分がそこに居合わせたとしたら、やはり私も吉田氏や村人と同

じ様に少年を疑ったに違いない。ひるがえってこの少年を自院のスタッフにおきかえて考えてみてはどうだろう。私達ドクターは自分のスタッフをどれだけ信頼し、相手にもその事をわからせているだろうか？

「人を動かす」の著者D・カーネギーはこの事について、本の中の登場人物に次の様に述べさせている。「要するに、人間はだれでも正直で、義務を果たしたいと思っているのだ。これに対する例外は比較的少ない。人をごまかすような人間でも、相手に心から信頼され、正直で公正な人物として扱われると、なかなか不正なことはできないものなのだ」。

問題は、スタッフとの信頼関係が出来ているかどうかなのである(私の所が出来ているという意味では決してありません一念の為)。

最近、歯科医院の経営コンサルタントをしているという人と話をしていて、おもしろい事を聞かされた。彼によると歯科医院に於いてドクターとスタッフがうまくやっているパターンは二つしかないそうである。一つはドクターが多少厳しくても、スタッフがドクターを尊敬している場合であり、もう一つは、ドクターがよほど人が良く、スタッフを大切にしている場合だそうである。ドクター側にこの二つの要素がない場合、つまり、スタッフに尊敬されていないにもかかわらずスタッフに対して厳しく、スタッフを大切にしない場合はどうなるか……結果は明白である。

私達開業医はそれぞれの医院に於けるリーダーである。リーダーは常に部下から見られている。子供がその親の生きざまを見て育つように、スタッフも又、日々私達の生きざまを見ている。私達がスタッフの評価をする様に、スタッフも又、私達の評価をしているのである。

最近受けたリーダーに関するセミナーの中で出て来た、リーダーに必要な六つの条件とは、

- 1、人間味 2、方向性 3、明確性
 - 4、真実を語る 5、地に足がついている
 - 6、カリスマ性
- という事だそうだ。

どれをとってみてもしんどい事ばかりで、これらを完璧に備えた人などスーパーマンでない

限り、居るわけがないと思うのであるが、そうとばかりも言っておれないので、多少とも理想のリーダー像に近づく様に、しんどいけれど、努力だけはしなければならないのである。現実には意外とキビシイのである。

氣・氣功

大 関 英 明

医学の分野で身体的なものの以外に、精神的な面に注意が向けられるようになり、東洋の伝統である〈心身一如〉の医学が見直され、身体現象に精神のあり方が深く関わっていることに注目され、心身医学という言葉が散見されるようになり、九州大学に心療内科が誕生したり、歯科界においても京都に歯科心理研究会が発足したりしたのも、30年以上前のことになってしまいました。

わたくしも一般心理学に続いて臨床心理学、心身医学、医療催眠、催眠麻酔、自己暗示、自律訓練、座禅、セルフコントロール、心理療法、エゴグラム、脳波に手を延ばし、脳波測定装置を数台設備し、コンピューター解析を行い、それによって集中力の強化訓練、アルファ脳波訓練のセミナーを催したりしました。

九州では初めてボディソニックを10台設備して音楽療法も行っていました。しかし深入りすればするほど人間の脳の問題や心理作用について疑問が深くなり、ついに気学、心霊科学、超能力などに興味を湧いてきて、東京から超能者清田益章氏を招聘して熊本・福岡・鹿児島などでセミナーを開催したりしました。その頃超能力と言えばユリグラのスプーン曲げが有名でしたが、スプーン曲げなどは、たった一回の受

講で会場の中から数人は成功する事実をみて納得し、人間の能力の不思議さに益々興味を持ってきました。

人間が集中することによって今まで知らなかった大きな能力が出せるようになる、速読術、記憶術のセミナーも開催しました。英語の単語2000語を一週間で完全に暗記し、しかも忘れないセミナーを夏休み、冬休みなどに開催し受験生などによるこばれました。

人間の脳細胞などは全体の1%程度しか働いていないと言われています。その残りの部分を働かせれば大きな仕事ができるわけです。

中国で針麻酔が活用されているとの事で、いろいろと勉強してみましたが、これは十分取り入れることができず簡単な小手術にしか応用できませんでした。

いろいろと東洋医学を学んでいるうちに、辿りついたものは『氣』でした。氣は中国だけのものではなく、日本にもあったものですがあまり発展しませんでした。

氣に関する言葉は空気、大氣、氣候などから、元氣、氣分、氣持、氣力、勇氣、氣が合う、氣詰まり、氣になる等数えると数百にのぼります。

氣の本質については現在でも未知の部分が多いのですが、医療の面で『氣功』としてこれを

利用しております。

日本の歯科界に気功を伝えたのは厚林省氏だったようです。熊本では筑波大学で気功の共同研究を行っている温中伸氏を招いて、長期セミナーを開催したのが本格的気功勉強の始まりでした。

気功、あるいは気についての品川嘉也氏の研究では普通の時はあまり使っていない右脳の働きが気と深い関係があり、気の訓練をすると記憶力が高まり、ひらめきが多くなり直感力が高まってくると言っている。

これからは理屈の時代ではなく感性の時代だといわれています。そのためには右脳をいかに働かせるかが、新しい時代に生き残れるかどうかの分かれ道になってくるはずです。

気の訓練をして右脳が活性化されたとき脳の内部では「快樂ホルモン」と呼ばれているドーパミンが分泌されている。ドーパミンは脳を覚醒させ、快感を誘い、意欲を発揮させる神経伝

導物質です。そのため脳の働きがよくなり、やる気が出てくるのです。

さらにドーパミンの外、ベーターエンドルフィンと副腎皮質刺激ホルモンが分泌される。その結果、心は落ち付き、リラックスして夜も快眠できるようになります。また瞑想などにも入りやすくなる状態となってきます。

中国の気功では気を取り入れる際、最も大切なことは「調身、調息、調心」だといって、つまりは体、呼吸、心をリラックスさせることだといわれています。

わたくしは30年以上かかって「気」の世界を知ることができ、気・気功によって自分だけでなく、人のためにも医療気功に力を入れております。

糸 切 歯 (1 患者より)

舛 田 て い

古稀をすぎて間もないある日、孫と向き合ってあめをなめていた。本来「のろま」のくせに、妙にせっかちな所もある私は、ちびちびなめているのに耐え切れなくなって、『ガリッ』とかみついたとたん、何かがポロリとひざの上に転がり落ちた。なんと、大事な大事な左の糸切歯ではないか!!

一瞬、舌の上に異物がのったように思われただけでいとも簡単にひざの上にのったままの糸切歯。全体がうす黄色になって、つけ根は輪のように何かが固まっていて、どう見てもうすら汚れた気味の悪い小さい塊。他の歯と仲良く並

んで役目を果たしていた頃は、それ自体がかけがえのない存在であり、小さくとも1個の貴重な生命体であったのに、つめたい「むくろ」になってしまったこの瞬間、私のすべては失われたように思われた。

『失ったものの貴重さは、失って見ないとわからない』とは、たしか外国の詩人の言葉であったと思うが、まさにしかり。

この糸切歯は、私と共に「60」年、えんえんと生きて来た。今でこそ、こんなていらくでころがっているが、これ迄私と共に生きて来た道程で、さまざまな「おもい」を体験してきた

に相違ない。少女の頃（女学生時代）。余り好きでもない裁縫の時、ハサミを使わずにこの歯で“プチン”と糸を切ると胸がスカッとしたものである。特に意地悪なオールド・ミスの○×先生が、ハサミで、シャーッと私がぬい上げたばかりのゆかたの袖付けなどを解いて“こんなことじゃ、お嫁にも行けませんよ!!”とにらみ乍ら言い放たれた時など、“あーあ、又ぬい直しかーいやだなァ”歯の奥で、ギリギリと糸切歯をかみしめる。先生もハサミもろとも憎たらしい存在となってしまうのである。

私にも女の一番いいころ一つまり『いい女』の頃があるにはあった。ほのぼのと嬉しいとき糸切歯は、思わずこぼれて白々と光り輝いていたにちがいない。又、思いがかなわぬ時はことばには出さずとも、口の奥で、悲しさをやさしさをひそかにかみしめていたのもこの糸切歯。

娘たちがそれぞれ独立して、ホッと一息入れた時、鏡にうつる己が歯の様にぎよとなった思い出。歯ぐきが後退して、歯がひよろ長く、しかもところどころにすき間があいて、スースーと息さえもれかねない状況。でも、その中にあって、毅然として健在だったのがこの糸切歯

だったのに。枯葉が音もなく散るように、あっけなく音も立てずにぬけてしまった。

私の熟年も糸切歯と共に去った。まだただけっこう意気盛んな熟年だと信じてきたのに一。“風と共に去りぬ”のスカレット・オハラ的心境。“ああ、はがゆい”という時の歯もみんな抜けたらー？歯がみする程くやしいだろう。でも歯どめ策もなかり。固い物には歯が立たない。「切歯扼腕」する思いで“明眸皓齒”とはおせじにも言えずとも、若き日の健やかな歯を『恋うる思いや切』である。

さて、糸切歯がぬけて、口の中が誠にさびしく、日常の食事などに不便極まりないこととなった。何とか明日は、いつもお世話になっている。M歯科へ行って、相談して手当をお願いせばなるまい。うちは夫が喜寿（77）私が古稀（70）すぎ、二人共M先生の患者である。先生は、『お二人とも、年齢わりには、よい歯をしていらっしゃいますよ。とくにご主人は、喜寿すぎた方なんて思えない程りっぱです。』と、力付けて下さる。段々へって行く歯を考えるにつけ、残った一本一本の歯を心からいとおしく思う昨今である。



〈ちょっと BREAK〉

パートⅦ

「スキン大国」ニッポン

世界中で最も多くスキンを消費している国はどこだろう。1位はズバリ日本で、年間の消費量は8億1,000万個。2位はアメリカで、年間の消費量は6億5,000万個となっている。3位・イギリスの3億6,000万個。アメリカの人口が日本の約2倍ということを考えると、日本人のエネルギーにはびっくりする。





スポーツの広場



第9回天草国際トライアスロン大会 9年連続出場完走

奥田良樹

平成5年5月30日。水温16℃。快晴。今年は走るばかり（それもチントラ走）の練習で、バイクとスイムは大会2週間前からの追い込みで、どうにか制限時間内に完走。出場者約800名で私は若い方から751番目。721位でゴール。

ビリヤード大会優勝

奥田実

平成5年4月25日、九州ビリヤード協会主催の九州アマ春季四ツ球優勝大会が熊本の河庄にて行われ、C級の3位入賞。またTKUの「町内の名人」のコーナーで、「78才のビリヤード名人」として、その一部がテレビ放映された。



空港デンタル会

H. 5. 6. 6 (14名参加) ダブルペリア方式

		O	I	G	H	N
1位	中島和義	37	42	79	8.4	70.6
2位	中根俊吾	48	50	98	25.2	72.8
3位	松本光示	40	39	79	6.0	73.0
4位	甲斐利博	41	43	84	10.8	73.2
5位	本田亘	46	43	89	15.6	73.4

トーナメントデンタルゴルフ会

4月18日 (19名参加)

		O	I	G	H	N
1位	森一	43	42	85	14	71
2位	篠原威雄	47	50	97	25	72
3位	本田治夫	46	45	91	19	72
4位	奥田良樹	44	48	92	19	73
5位	藤波剛	51	49	100	26	74

トーナメントゴルフ会

5月16日(24名参加)

1位	宮崎 幸一	47	48	95	28	67
2位	篠原 威雄	49	45	94	25	69
3位	寺島 美史	52	56	108	36	72
4位	斉藤 忠継	46	50	96	22	74
5位	宇都宮 啓一	50	52	102	28	74

6月13日(25名参加)

雨ハーフ打切(out、in 同時ST)

1位	河野 敬明	43	20	33
2位	井尾 治雄	46	22	35
3位	奥田 良樹	46	19	36.5
4位	斉藤 忠継	47	21	36.5
5位	木村 洋	55	36	37



〈ちょっとBREAK〉 パートⅧ

赤、白、ロゼ、ワインの色の違いは何?

テーブルにワイン、
そんな光景が珍しくな
くなった今日ですが、
このワイン、赤、白、
ロゼと色の違いで種類
が区別されていますが、
この色の違いはどうし



てできるのか、知らない人が意外に多いようです。
何となく想像できるのが、ブドウの種類の違いで
すが、そうではありません。もちろん着色料を使用
しているわけでもありません。色、味の違いは
醸造法の違いによるものなのです。

ワインの製造法は、まず収穫したブドウの実を
つぶして「もろみ」を造りますが、白ワインはこの
もろみを絞り、ジュースだけを取って発酵させる
のです。赤ワインは、皮や種がついたままもろ
みを発酵させるので、あの赤い色はブドウの皮の

熊本デンタルゴルフ

4月18日、空港カントリー(25名参加)

1位	松本 光示	39	40	79	4.8	74.2
2位	本田 亘	42	43	85	10.4	74.6
3位	干場 敏昭	45	39	84	8.8	75.2
4位	細川 孔	49	46	96	19.2	75.8
5位	中川 順一	38	48	86	9.6	76.4

5月16日、空港カントリー(15名参加)

1位	稲葉 逸郎	42	39	81	8	73
2位	工藤 隆弘	44	43	87	13.6	73.4
3位	松本 光示	40	40	80	4	76
4位	中島 義和	44	45	89	8	81
5位	渡辺 賢治	43	43	86	4.8	81.2

6月20日、空港カントリー(17名参加)

1位	中島 義和	44	36	80	10	70
2位	渡辺 賢治	39	41	80	6	74
3位	甲斐 利博	42	41	83	5	78
4位	椿 幸雄	49	45	94	16	78
5位	稲葉 逸郎	47	39	86	8	78

赤い色が出るのです。ロゼの場合は赤ワインと同
じですが、発酵の途中で皮や種を取り除くので、
ちょうど透き通るようなバラ色になるのです。

アルコール類はあまり好きでないという人や健
康にこだわって意識的にさけている人でも、ワイ
ンなら大丈夫という人がいます。ワインは果汁100
パーセントなので飲みやすく、アルカリ性でミネ
ラルを含んでいるので、消化の働きも助けてくれ
ます。体によい飲み物として万人に愛されている
のです。

さて、ワインをおいしく飲むには、温度が関係
してきますが、「白は冷やし、赤は室温で」が原則
です。ただし、赤ワインは室温といっても多少冷
やしたほうがよいようです。なぜなら、この「室
温」とはヨーロッパでいう室温のことで石造りの
建物のなかを指すので、日本の室温とは差がある
からです。

よろしく！新人です



1. 氏 名 南 裕 之

2. 住 所

(自 宅) 熊本市新南部3-7-150エスポワール園田201号

T E L 096-383-9255

(診療所) 熊本市室園町10-17 (竜山病院歯科) T E L 096-343-3311

3. 生年月日 昭和30年4月10日

4. 趣 味 将棋、読書、麻雀

5. 好きな言葉 根浅ければ則ち末短く、本傷るれば則ち枝枯る

6. 経 歴 昭和49年3月 私立真和高校卒業

昭和62年3月 東日本学園大学歯学部卒業

昭和62年4月～63年3月 東日本学園大学口腔生理学研究生

昭和63年4月～平成1年3月 九州歯科大学第2保存学研修生(北九州市)

平成1年4月～1年11月 津覇歯科医院勤務(北九州市)

平成1年12月～ 竜山病院歯科勤務(熊本市室園)

7. 家族構成 妻：輝美

*

*

*



1. 氏 名 山 部 英 則

2. 住 所

(自 宅) 熊本市大江1-11-20 T E L 096-364-8020

(診療所) 熊本市大江1-11-20 T E L 096-371-8118

3. 生年月日 昭和36年2月1日

4. 趣 味 スキー、ゴルフ、釣り、絵画鑑賞、車

5. 好きな言葉 “よく学び、よく遊べ”

6. 経 歴 昭和62年3月 東日本学園大学歯学部卒業

昭和63年3月 九州歯科大学卒直後研修医終了

平成4年3月 九州歯科大学歯科補綴学第2講座博士課程終了

平成4年4月 堀川歯科診療所勤務

平成5年3月 堀川歯科診療所退職

平成5年4月20日 山部歯科医院開業

7. 家族構成 妻：治子

長男：陽平(3才)

次男：達也(11ヶ月)

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
4月21日	第56回理事会（総務、庶務、会計、委員会報告、協議）
5月19日	第57回理事会（同 上）
6月26日	第58回理事会（同 上）
7月21日	第59回理事会（同 上）

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
4月6日	平成5年度事業計画について 保険シリーズについて
5月11日	ビデオ研修会（光CR）について 県社保指導講習会について（6月23、6月25） 社保小冊子シリーズⅡの発行 社保小冊子シリーズⅢの検討会
6月8日	社保小冊子シリーズⅢの検討
7月6日	県社保指導講習会の反省会 社保小冊子シリーズⅢの検討

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
4月2日	ボーリング大会および親善懇親パーティー日時決定 会員によるゴルフ大会（9月予定） 平成6年新年パーティーについて
4月7日	ボーリング大会について
4月23日	ボーリング大会について
5月11日	ボーリング大会打合せ
5月18日	ボーリング大会打合せ 懇親会打合せ
6月3日	ボーリング大会、懇親会の反省
7月7日	第1回ゴルフ大会について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
3月19日	川崎市歯科医師会の事業視察について 子供の健康を考える会について 学校歯科校医の委嘱状について 市役所ロビーでの検診について
4月16日	平成5年度事業計画の説明 学校歯科検診用紙の再検討
5月18日	ビデオ、映画、スライド等の貸し出しについて 市役所ロビーでの無料相談について
6月18日	九州地区学校保健協議会について ビデオ、映画貸し出し状況について 各都市学校保健担当者協議会について 市職員及び家族の歯科検診について

口腔衛生委員会

月 日	協 議 題
4 月 20 日	歯の衛生週間事業について
5 月 18 日	よい歯のコンクールについて (5 / 29)
	無料歯科検診について (6 / 4)
	歯の衛生週間について (6 / 7、8)
	幼稚園フッソ塗布について (7 / 14、15)
7 月 13 日	幼稚園フッソ塗布について (7 / 14、15)
	健康フェアについて (10 / 23、24)
	健康講座
	よい歯のコンクールの反省
	歯科無料検診の結果について

医療管理委員会

月 日	協 議 題
4 月 14 日	スタッフ研修セミナー
	感染性廃棄物に係るマニフェストについて (熊本市清掃部長よりの通知)
	医療法改正 (広告) について
	アシスタントのマニュアルについて
5 月 21 日	歯科医院における時短の進め方と就業規則 講師 社会保険労務士 松本一喜
6 月 11 日	院内掲示物について
	医療法改正による院内掲示物について
	後方支援病院利用状況について

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
3 月 31 日	かわら版 4 月号校正
	中岳 81 号原稿点検
4 月 20 日	中岳 81 号第一校正
4 月 28 日	中岳 81 号第二校正
	かわら版編集
5 月 10 日	かわら版 5 月号校正
	虫歯予防デーアンケート検討
5 月 25 日	かわら版 6 月号校正
	中岳 82 号目次作り
6 月 1 日	かわら版 6 月号第一校正
	アンケートの打合せ
6 月 17 日	中岳反省会
	8020 アンケート検討
6 月 25 日	中岳 82 号編集会議
	中岳 82 号チェック
6 月 28 日	かわら版原稿集め
7 月 2 日	かわら版 7 月号校正
	中岳 82 号原稿チェック

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
3月19日	第13回ビデオ研修会 学術講演会 検査値の読み方チャートについて
3月31日	検査値の読み方チャートについて 6月1日(火)7:30 第13回ビデオ研修会
4月16日	検査値の読み方チャートについて 第13回ビデオ研修
5月21日	6月1日ビデオ研修会(第13回) 7月3日学術講演会
6月29日	来年の熊本市学術講演会について 7月3日(土)の学術講演会 今後のビデオ研修会について 検査値の読み方チャートについて
7月20日	H6. 3. 13の市学術シンポジウムについて 第14回ビデオ研修会について 検査値の読み方チャートについて

その他の委員会

歯科総合検討臨時委員会

- 6月18日 会員の証及び対外事業協力会員の証設置について
新入会員の指導、研修、オリエンテーションに対する検討

訪問歯科診療実施部会

- 事業報告、症例報告
ケアの実施
社保説明
長寿の里



先日の衆院選は「政治が変わるここ一番の歴史的選挙」とマスコミを挙げて伝えられ、日頃、興味の無い私も関心を持ったものでした。しかし実際終わってみると、衆院選史上最低の67.26%と非常に低い投票率に終わってしまいました。

理由は色々と考えられると思いますが、折角の自分の権利を主張せずに無関心でいると言う事は怖い事だという感じがします。

話は変わりますが我が歯科医師会にあっても、無関心な方が多いように見受けられます。後の祭りという言葉があるように、話が決定した後に異議を唱えたとしても、もうどうにも変えられない場合が多いのです。後になって不平不満を言うよりは、常に自分の疑問点や考えを正々堂々と主張し、後に後悔を残さない様にする姿勢が大切だと思います。

我々広報委員会も微力ながら会員皆様のご意見・ご要望にお応えするつもりです。匿名でも宜しいですから、ご意見・ご要望その他何かありましたら、ご一報ください、よろしくお願い致します。

(K・E)

熊本市歯科医師会会誌

第 82 号

発行日 平成 5 年 8 月 25 日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井 2 丁目 3 番 6 号

TEL (3 4 3) 6 6 6 9

FAX (3 4 4) 9 7 7 8

発行
責任者 中 根 俊 吾

印刷所 株式会社 白 瀬

熊本県菊池郡西合志町須屋 1927-1 番地

TEL 096-346-1515 FAX 096-343-3303